

『尾瀬学校』を生かした
環境教育の推進を図るための調査研究報告書

環境を感じ考え、様々な活動の環を広げて行くための学習計画

尾瀬KAN



群馬県総合教育センター



I	はじめに	1
II	『尾瀬学校』と「環境教育」	2
III	『尾瀬学校』学習計画	3
1.	「事前」「尾瀬当日」「事後」の3つの学習に 視点を当てた学習計画例について	4
	・学習計画A	5
	・学習計画B	10
	・学習計画C	13
2.	課題追究の活動例	15
3.	外部機関との連携・活用	17
	①群馬県立自然史博物館	18
	②群馬県立ぐんま昆虫の森	20
	③移動尾瀬自然教室	22
	④環境学習車エコムーブ号	24
	⑤フォレストリースクール	26
	⑥群馬県立尾瀬高等学校	28
	⑦企業	29
	⑧尾瀬ぷらり館	30
4.	他教科・道徳との関連	31
5.	ガイドとの連携Q & A	32
6.	雨天時の対応Q & A	34
7.	ワークシート・チェックシートについて	36
	・ワークシート①(事前:小学校)	37
	・ワークシート①(事前:中学校)	40
	・ワークシート②(当日:共通)	43
	・ワークシート③(事後:共通)	44
	・ワークシート解答例	45
	・エコチェックシート(学校)	47
	・エコチェックシート(家庭)	48
IV	『尾瀬学校』実施校への調査結果	49

I はじめに

研究主題：『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進を図るための調査研究
—「事前・事後学習」に視点を当てた学習計画の作成を通して—



* 『尾瀬学校』調査研究の背景と目的

○『尾瀬学校』の現状と課題

群馬県教育振興基本計画の中の「ふるさとを学び環境を考える尾瀬学校」（取組13）を指針に、昨年度（平成20年度）、県の事業である『尾瀬学校』が新設されました。この事業を活用して、初年度は108校、児童生徒約8200人、2年目である今年度（平成21年度）は136校、児童生徒10500人余りが尾瀬を訪れ、環境問題や環境保全についての学習に取り組みました。

『尾瀬学校』での環境学習を通じた意識調査では、初年度『尾瀬学校』実施校の子どもたちの60%以上が、自然保護や環境問題に興味をもち、尾瀬にまた行ってみたいと回答しています。このことから、『尾瀬学校』を通して、子どもたちの環境に対する意識が高まったという点では成果は出ているといえます。

しかし、『尾瀬学校』実施校の創意工夫により充実した学習が進められ、成果が出ている一方、その学習内容は各学校の実情により様々であると考えられます。『尾瀬学校』が新設される以前に実施された平成19年度の群馬県教育委員会調査によると、県内各学校の環境教育の実施状況は、すべての学校で、各教科・総合的な学習の時間及び特別活動を通して、環境教育にかかわる学習を実施しているという結果が出ています。特に、総合的な学習の時間での実施率は、公立小学校94%、公立中学校75%です。このような状況下で、新たに『尾瀬学校』が新設され、これを生かした環境教育を各学校が展開していくことは、とても重要であるとともに、そこから様々な課題も生じてきていると思われる。そこで、各実施校の『尾瀬学校』と環境教育を結び付けた学習指導状況はもちろん、教員の意識なども不明のままであるため、これらの実態についても調査し、把握する必要があると考えられます。

○『尾瀬学校』の調査研究の目的と内容

今後、『尾瀬学校』への参加校や参加者が増加することが予想される中で、尾瀬を生かした環境教育、ひいては“群馬県ならではの環境教育の推進”が求められてくるはずです。そのため、『尾瀬学校』実施小・中学校に対して、その実態調査を行い、現状と課題及び要望を分析・解釈し、その在り方を探ることをねらいとして、調査研究に取り組みました。具体的には、『尾瀬学校』の環境学習の中核である、「事前学習」と「事後学習」に視点を当て、「尾瀬当日の学習」との効果的なつながりを探っていきました。また、それぞれの学習過程で、外部機関との連携・活用状況や実施校の学習内容・取組を明らかにしていきました。そして、これらの調査から明らかになったことを「尾瀬KAN」（『尾瀬学校』の学習を通して、環境を感じ考え、様々な活動の環を広げていくための学習計画）の作成を通して、提言していきたいと考えました。このように『尾瀬学校』と環境教育を結び付けた指導の方向性や方策を示すことは、各学校の『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進へ寄与できると考えています。

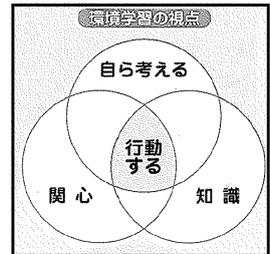
II 『尾瀬学校』と「環境教育」

* 『尾瀬学校』と「環境教育」との関連

○ 「環境教育」の視点から見た『尾瀬学校』

子どもたちの意識を、環境に配慮した行動につなげていくために、次の3つの視点が必要です。

- 環境への関心を高める。
- 正しい知識を習得する。
- 自ら考える態度を養う。



この3点を『尾瀬学校』の学習と関連付けてみると、次のようになります。

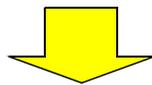
- ◇ 尾瀬での自然体験学習を通して、環境への関心を高めることができます。
- ◇ 「事前学習・尾瀬当日の学習・事後学習」の系統的な学習を展開することで、環境に対する正しい知識を習得することができます。
- ◇ 『尾瀬学校』の学習を通して、感じ・考え、学んだことを身近な環境に生かしていくためには、自分は何をするべきかを考えるようになるなど、自ら考える態度を養うことができます。

* 『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進を図るための調査及び提言

○ 『尾瀬学校』実施校への実態調査

* 調査対象校：『尾瀬学校』実施146校（初年度実施108校・今年度新規実施37校）

- ① これまで取り組んできた環境教育の実態調査
 - ・ 『尾瀬学校』実施以前に取り組んできた環境教育の実態に関する基礎データを得る。
- ② 『尾瀬学校』の実態調査
 - ・ 『尾瀬学校』の現状と課題、要望を広く認識する。
 - ・ 調査結果の分析、解釈を行う。
 - ・ 『尾瀬学校』の学習の中核である「事前学習」と「事後学習」に視点を当て、「尾瀬当日の学習」との効果的なつながりを考察し、環境教育との結び付きを探る。



○ 学習計画の作成・提言（調査結果を生かした教育実践例）

- ・ 各学校が『尾瀬学校』の学習を生かした環境教育を進める上での効果的な活用につながる指導の方向性や方策を取り入れた学習計画を示す。
名称は、以下の通りとする。
“環境を感じ、考え、様々な活動の環を広げていくための学習計画”「尾瀬KAN」

Ⅲ 『尾瀬学校』 学習計画



* 学習計画「尾瀬KAN」の内容

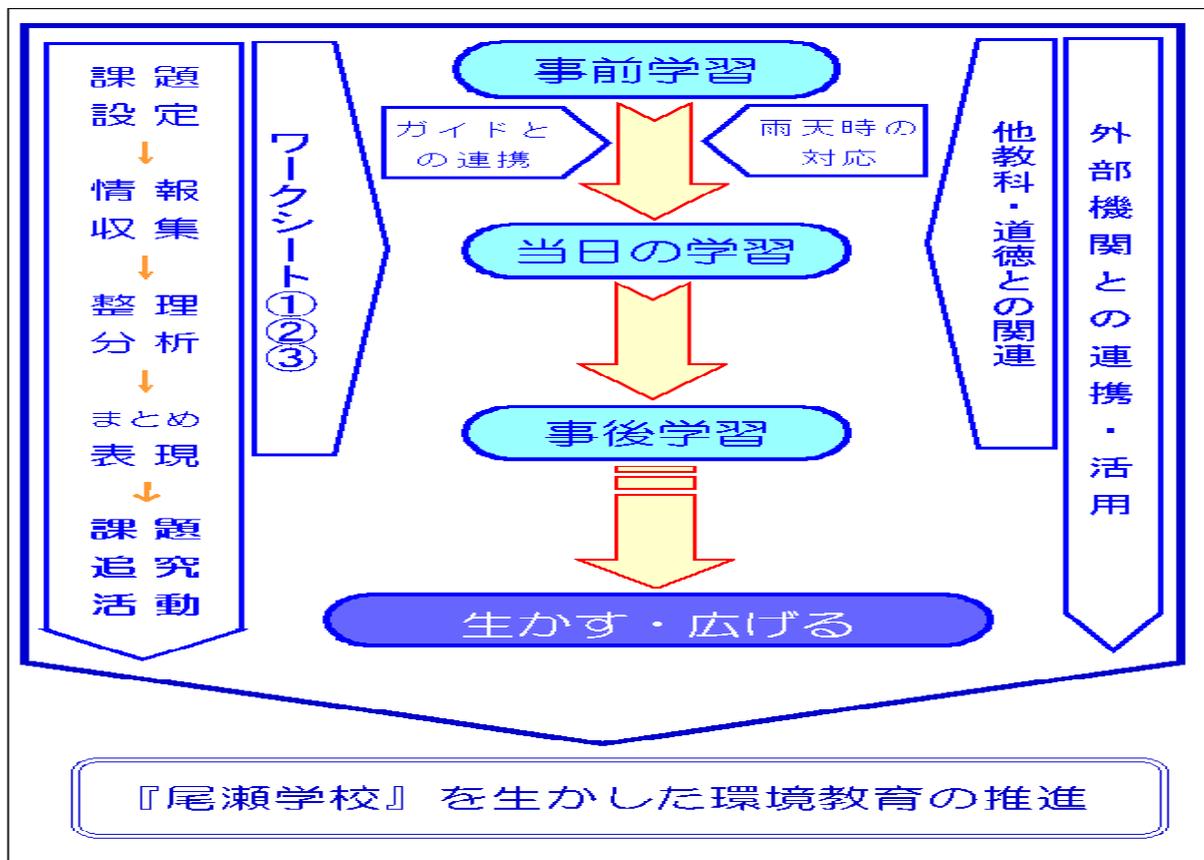
○ 学習計画「尾瀬KAN」

* 3つの学習（「事前学習」「尾瀬当日の学習」「事後学習」）に視点を当てた学習計画（総合的な学習の時間）

- ・ 尾瀬の基本学習やまとめのためのワークシート（小学校・中学校）
「①尾瀬について調べよう」・「②尾瀬について学ぼう」・「③尾瀬についてまとめよう」
- ・ 課題設定から課題解決につながる課題追究の活動例
- ・ ガイドとの連携Q & A、雨天時の対応Q & A
- ・ 外部機関との連携・その活用
[自然史博物館、ぐんま昆虫の森、移動尾瀬自然教室、エコムーブ号、フォレストリースクール、尾瀬高等学校、企業（東京電力）、尾瀬ぷらり館]

* その他（『尾瀬学校』の学習を「環境教育」に結び付けていくための学習）

- ・ 他教科、道徳との関連
- ・ 課題追究の活動を実践化につなげるための「エコ活動チェックシート」（学校用・家庭用）



学習計画「尾瀬KAN」構成図

1. 「事前」・「尾瀬当日」・「事後」の3つの学習に 視点を当てた学習計画例について

- 『尾瀬学校』の環境学習を進めるための学習計画例（総合的な学習の時間での実施）を3つ示します。各学校の実態に応じて、活用していきましょう。
（実施計画時間には、尾瀬当日の学習時間は含みません）

- * **A**：ワークシート・課題解決学習を中心とし、そこに外部機関やガイドとの連携ポイント等を示してあり、学習計画の基本となるものです。（P. 5～）
（25時間予定：外部機関との連携時間は含みません）
- * **B**：ワークシートの学習をもとに、課題設定・解決学習へとつなげていく学習計画です。（P. 10～）
（15時間予定）
- * **C**：ワークシートの学習を中心とし、尾瀬の調べ学習からまとめまで、効率よく学習を進めていく学習計画です。（P. 13～）
（10時間予定）

注意①：基本である学習計画Aの短縮版がBとCであるため、重複している箇所があります。

注意②：「尾瀬当日の学習」までに取り組む学習期間は「事前学習」、ガイドによる事前学習は事前学習と表記してあります。

学習計画A

【基本の学習計画】

- 1 単元名 「尾瀬からはじまる環境学習」（総合的な学習の時間）
- 2 目 標 尾瀬自然体験学習を通して、環境問題への関心を高め、身近な地域の環境にかかわる課題や環境保全と開発にかかわる課題を追究しながら、環境保全のために自分にできることから実践していこうとする態度を養う。
- 3 単元計画 全25時間（尾瀬当日の学習時間は含みません）

過程	主 な 活 動	時 間	支 援 及 び 留 意 点
「事前学習」では、尾瀬の自然や環境対策など、尾瀬への関心を高める学習に重きをおきましょう！	1 「尾瀬を知ろう」 ○尾瀬について知っていることを挙げる。 ○尾瀬のビデオなどを見て、尾瀬の概要を知る。 ○尾瀬のプロフィールについて考える。 ○尾瀬についての情報を収集する。	1 2 3	○尾瀬の概要を視覚的にとらえさせるために、ビデオなどを視聴する。 ○尾瀬への関心を高めるため、ワークシートを用いる。 ○ガイドブックやインターネットなどでポイントを絞って調べさせる。
	<div style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px;"> ★ワークシート①【尾瀬について調べよう】 （P. 36～）を使用し、尾瀬について知ろう。また、課題設定のヒントを得よう。 </div>		
<div style="background-color: #ADD8E6; padding: 5px; border: 1px solid black;"> 【外部機関との連携・活用ポイント】（P. 17～） 「県立自然史博物館」・「尾瀬高校」・「エコムーブ号」・「企業（東京電力）」を活用することで、尾瀬についての詳しい情報とともに環境教育と結び付く課題設定のためのヒントを得ることができます。 </div>			
	○尾瀬で見てきたいもの、調べたいことを発表し、それぞれの班を作る。 ○各班（個人）で調べたいテーマを決める。	4 5	○班で一つのテーマに絞れるように、助言を与える。（班編制は各学校の実態による）
<div style="background-color: #800080; color: white; padding: 10px; border-radius: 15px;"> ★テーマ（課題）設定の例として、以下の項目を参考にしよう！ この段階では、細かなテーマは設定せず、尾瀬で見てきたいものの調べ学習程度のテーマにしておきましょう！ ＊ワークシート①の問題（小学校P. 37～・中学校P. 40～）から課題設定につなげましょう。【植物や生き物はさらに細分化できます。】 ①植 物 ②生き物 ③池 塘 ④拋水林 ⑤ブルテ ⑥ケルミとシュレンケ ⑦木 道 ⑧トイレ ⑨ゴミ処理 ⑩ルール・マナー ⑪その他 </div>			

「尾瀬当日の学習」に向けて、「事前学習」時にガイドとの打ち合わせを綿密に行っておきましょう！

○テーマに沿った調べ学習を進める。	6	○視覚的に分かりやすい発表準備を心掛ける。
○中間発表会へ向けて準備する。	7	
◎ガイドによる事前学習		
○尾瀬に関する詳しい説明を聞く。	8	○ガイドの説明を受け、疑問点などを確認させる。

★ガイドとの連携が大切です！

- ・尾瀬の実態（環境問題・環境対策）や体験談を話してもらおう。（事前に話してもらいたい内容をお願いしておこう。）
- ・雨天時の対応、当日の流れ（開校式の有無～閉校式）の確認をしておこう。（特に雨天での実行・延期の有無を決めておきましょう。）
- ・学校からの要望等をしっかりと伝えておこう。



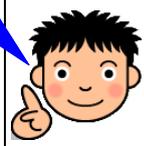

◇ガイドとの連携については「ガイドとの連携Q&A」（P. 32～）を活用しよう。

2 「事前中間発表会をしよう」		
○各班（個人）でテーマなどを発表する。	9	○聞く側から質問などをさせることで、テーマの絞り込みを行う。
○他の班の意見を参考にして、さらに詳しく調べる。	10	○他の班の発表を聞き、受けたアドバイスを参考に、さらに調べ学習を進めさせる。

3 「尾瀬へ行く準備をしよう」		
○尾瀬に入る際の基本的なマナーや当日の持ち物などを確認する。	11	○マナー・ルールなどをきちんと確認させる。

情報 報 の 収 集	4 「尾瀬へ行こう」		
	○尾瀬で自然体験をする。 ○各班のテーマ・課題解決に向けて、活動する。		○ガイドの指示に従って活動する。 ○尾瀬の自然体験を事後学習につなげるために、ワークシートを用いる。記入する時間がとれない場合は、メモ程度とする。

★ワークシート②【尾瀬について学ぼう】
（P. 36～）を使用し、尾瀬について理解を深めよう。



「事後学習」では、尾瀬と環境問題のかかわりを基本に、身近な生活との結び付きも考えていきましょう！

★当日のガイドとの連携も大切です！

- ・事前に子どもたちのテーマ（課題）を知らせておこう。
（遅くとも当日には、しおりで知らせるようにしよう。）
- ・尾瀬の環境問題や環境保全についての話をしてもらおう。
（「事前学習」時にもお願いしておこう。）



○各班の課題解決に近付けるように、質問などをする。また、課題解決に近付けなくても尾瀬の自然を感じることに重点をおく。

◇ガイドとの連携については「ガイドとの連携Q&A」（P. 32～）を活用しよう。

◇雨天時の対応については、「雨天時の対応Q&A」（P. 34～）を活用しよう。

【外部機関との連携・活用ポイント】（P. 17～）
雨天で延期になった場合「自然史博物館」・「ぐんま昆虫の森」・「尾瀬高校」（突然の場合は「尾瀬ぷらり館」）を活用することができます。
（注意：事前に活用したい旨を連絡しておきましょう。）



5 「尾瀬の自然体験学習を振り返ろう」

- | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----------------------------|
| 整理 | ○尾瀬学校でお世話になったガイドにお礼の手紙を書く。 | 1 3 | ○お礼の手紙の書き方（手本）に倣って、心を込めて書く。 |
| 分析 | ○尾瀬の環境問題や環境保護について考えをまとめる。 | 1 4 | ○尾瀬の学習のまとめとして、ワークシートを用いる。 |

★ワークシート③【尾瀬についてまとめよう】（P. 36～）を使用し、尾瀬の学習をまとめよう。



- | | | |
|--|-----|--|
| ○「事前・当日の学習」を通して、気付いたことや問題点を出し合う。そして、もう一度調べたいテーマ（課題）を決める。 | 1 5 | ○気付きや問題点の中から、環境問題の視点でテーマを考えさせる。 |
| ○テーマ（課題）別にグループ分けをし、それぞれが尾瀬での体験学習をもとに、環境にかかわるテーマを設定する。 | 1 6 | ○自然保護や環境対策について提言ができるようなテーマを設定できるように助言する。 |

★「尾瀬当日の学習」を受けて、各学校がこれまで取り組んできた環境学習と関連付けたテーマを設定しよう！
* 「事前学習」でのテーマと変わってもO、Kです。



★尾瀬の環境問題や自然保護にかかわるテーマ（課題）設定の例として、以下のテーマを参考にしよう！

*子どもたちの具体的な活動に結び付いていくテーマを設定しましょう！

①尾瀬で取り組んでいる自然保護

⇒尾瀬でのゴミ問題を調べ、自分たちのこれまでのゴミ処理方法について見直し、リサイクル活動に取り組んでいこう

⇒尾瀬のトイレ浄化槽について調べ、自分たちのこれまでの水の使い方を見直し、節水に取り組んでいこう

②尾瀬の生き物から見た環境問題

⇒尾瀬の希少生物と、その保護対策を調べ、生き物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

③尾瀬の植物から見た環境問題

⇒尾瀬の植物と外来植物との関連を調べ、植物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

④尾瀬の成り立ちから見た環境問題

⇒尾瀬の成り立ちを調べることで、その貴重性を知り、尾瀬の自然を守るために、自分たちにできる活動を考えよう

⑤尾瀬の植生復元等から見た環境問題

⇒尾瀬の植生復元の現状から、自然と人間との関係を調べ、自分たちにできる環境に優しい取組を考えていこう

◇テーマ（課題）設定・解決に向け、子どもたちが取り組める学習活動やリサイクル活動については、P. 15・16を参考にしよう。

○尾瀬と環境問題のかかわりについて考えながら、調べる。

17
18

○テーマに沿った調べ学習を進める。

19

○自分たちの身近な生活だけでなく、社会とのかかわりも意識させたい。

【外部機関との連携・活用ポイント】（P. 17～）
「自然史博物館」・「エコムーブ号」・「フォレストリースクール」
「企業（東京電力）」を活用することで、課題解決のためのヒントが得られるとともに、環境への身近な取組内容が分かり、環境教育へと結び付けていくことができます。



『尾瀬学校』のまとめとして、身近な生活場面で環境に優しい取組を決め、それを実際に行動に移していきましょう！

<p>まとめ</p>	<p>7「事後中間発表会をしよう」</p> <p>○グループごとに調べた内容等を発表し合い意見交換をする。</p> <p>○意見交換を基に、再検討し、修正する。</p> <p>○情報を整理・取捨選択し、模造紙などにまとめる。</p>	<p>2 0</p> <p>2 1</p> <p>2 2</p> <p>2 3</p>	<p>○身近な環境保全などのために、自分たちはどうあるべきか、追究を通して得た考えや伝えたいことを明確にしてまとめる。</p>
<p>発表</p>	<p>8「自分たちの考えをまとめて発表しよう」 ～できることから始めよう！～</p> <p>○日々の生活の中で、環境保全のためにできることを発表し、交流し合う。</p>	<p>2 4</p> <p>2 5</p>	<p>○班ごとに発表をする。</p> <p>○相互交流を図る。</p> <p>○実際に行動に移せる具体的な取組を発表する。</p>
<p>生かす・広げる</p>	<p>○尾瀬で学習した観点を生かして、これからの日々の生活につなげていきたい環境にかかわる取組を設定する。 (個人・学年・学校全体)</p>		<p>○今まで自校で取り組んできた環境にかかわる活動と結びつけて、取組内容を設定するようにする。</p>

尾瀬での自然体験学習をきっかけとして、子どもたちに環境問題や環境保全の意識が芽生えます。
その意識をふだんの生活を見直したり、身近な活動に取り組んだりするといった行動に移していくことが大切です！



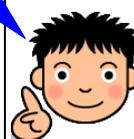
学習計画B

【ワークシート学習から課題設定・解決学習へ】

- 1 単元名 「尾瀬からはじまる環境学習」（総合的な学習の時間）
- 2 目標 尾瀬自然体験学習を通して、環境問題への関心を高め、身近な地域の環境にかかわる課題を追究しながら、環境保全のために自分にできることから実践していこうとする態度を養う。
- 3 単元計画 全15時間（尾瀬当日の学習時間は含みません）

「事前学習」では、尾瀬の自然だけでなく、自然保護や環境対策など、課題設定につながる学習に重きをおきましょう！

過程	主な活動	時間	支援及び留意点															
課題設定	1 「尾瀬を知ろう」 ○尾瀬について知っていることを挙げる。 ○尾瀬のビデオなどを見て、尾瀬の概要を知る。 ○尾瀬のプロフィールについて考える。 ○尾瀬についての情報を収集する。	1 2 3	○尾瀬の概要を視覚的にとらえさせるために、ビデオなどを視聴する。 ○尾瀬への関心を高めるため、ワークシートを用いる。 ○ガイドブックやインターネットなどでポイントを絞って調べさせる。															
	○尾瀬で見たいもの、調べたいことを発表し、それぞれの班を作る。 ○各班（個人）で調べたいテーマを決める。	4	○班で一つのテーマに絞れるように、助言を与える。 （班編制は各学校の実態による）															
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #e0e0ff;"> <p>★ワークシート①【尾瀬について調べよう】（P. 36～）を使用し、尾瀬について知ろう。また、課題設定のヒントを得よう。</p> </div>																	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #e0e0ff;"> <p>★テーマ（課題）設定の例として、以下の項目を参考にしよう！ この段階では、細かなテーマは設定せず、尾瀬で見たいものの調べ学習程度のテーマにしておきましょう！ ＊ワークシート①の問題（小学校P. 37～・中学校P. 40～）から課題設定につなげましょう。【植物や生き物はさらに細分化できます。】</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>①植物</td> <td>②生き物</td> <td>③池 塘</td> <td>④拋水林</td> <td>⑤ブルテ</td> </tr> <tr> <td>⑥ケルミとシュレンケ</td> <td>⑦木 道</td> <td>⑧トイレ</td> <td>⑨ゴミ処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩ルール・マナー</td> <td>⑪その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>			①植物	②生き物	③池 塘	④拋水林	⑤ブルテ	⑥ケルミとシュレンケ	⑦木 道	⑧トイレ	⑨ゴミ処理		⑩ルール・マナー	⑪その他			
①植物	②生き物	③池 塘	④拋水林	⑤ブルテ														
⑥ケルミとシュレンケ	⑦木 道	⑧トイレ	⑨ゴミ処理															
⑩ルール・マナー	⑪その他																	
	○テーマに沿った調べ学習を進める。	5	○調べても分からない点は、当日の学習にまわす。															



「尾瀬当日の学習」では、課題解決だけでなく、尾瀬の自然・環境対策にも目を向けていきましょう！

「事後学習」では、新たな課題と環境とを結び付けながら、身近な生活へと関連付けていきましょう！

情報 報 の 収 集	<p>◎ガイドによる事前学習</p> <p>○尾瀬に関する詳しい説明を聞く。</p>	6	○ガイドの説明を受け、疑問点などを確認させる。
	<p>2「尾瀬へ行く準備をしよう」</p> <p>○尾瀬に入る際の基本的なマナーや当日の持ち物などを確認する。</p>	7	○マナー・ルールなどをきちんと確認させる。
	<p>3「尾瀬へ行こう」</p> <p>○尾瀬で自然体験をする。</p> <p>○各班のテーマ・課題解決に向けて、活動する。</p> <p>★ワークシート②【尾瀬について学ぼう】 (P. 36～)を使用し、尾瀬について理解を深めよう。</p> 		<p>○ガイドの指示に従って活動する。</p> <p>○尾瀬の自然体験を事後学習につなげるために、ワークシートを用いる。記入する時間がとれない場合は、メモ程度とする。</p> <p>○各班の課題解決に近付けるように、質問などをする。また、課題解決に近付けなくても尾瀬の自然を感じることに重点をおく。</p>
整理 ・ 分 析	<p>4「尾瀬の自然体験学習を振り返ろう」</p> <p>○尾瀬の環境問題や環境保護について考えをまとめる。</p> <p>★ワークシート③【尾瀬についてまとめよう】 (P. 36～)を使用し、尾瀬の学習をまとめよう。</p> <p>○事前・当日の学習を通して、気付いたことや問題点を出し合う。そして、もう一度調べたいテーマ(課題)を決める。</p> <p>○テーマ(課題)別にグループ分けをし、それぞれが尾瀬での体験学習をもとに、環境にかかわるテーマを設定する。</p> <p>★「尾瀬当日の学習」を受けて、各学校がこれまで取り組んできた環境学習と関連付けたテーマを設定しよう！ *「事前学習」でのテーマと変わってもO.Kです。</p>  	8 9 10	<p>○尾瀬の学習のまとめとして、ワークシートを用いる。</p> <p>○気付きや問題点の中から、環境問題の視点でテーマを考えさせる。</p> <p>○自然保護や環境対策について提言ができるようなテーマを設定できるように助言する。</p>

★尾瀬の環境問題や自然保護にかかわるテーマ（課題）設定の例として、以下の項目を参考にしよう！

*子どもたちの具体的な活動に結びついていくテーマを設定しましょう！

①尾瀬で取り組んでいる自然保護

⇒尾瀬でのゴミ問題を調べ、自分たちのこれまでのゴミ処理方法について見直し、リサイクル活動に取り組んでいこう

⇒尾瀬のトイレ浄化槽対策を調べ、自分たちのこれまでの水の使い方を見直し、節水に取り組んでいこう

②尾瀬の生き物から見た環境問題

⇒尾瀬の希少生物と、その保護対策を調べ、生き物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

③尾瀬の植物から見た環境問題

⇒尾瀬の植物と外来植物との関連を調べ、植物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

④尾瀬の成り立ちから見た環境問題

⇒尾瀬の成り立ちを調べることで、その貴重性を知り、尾瀬の自然を守るために、自分たちにできる活動を考えよう

⑤尾瀬の植生復元等から見た環境問題

⇒尾瀬の植生復元の現状から、自然と人間との関係を調べ、自分たちにできる環境に優しい取組を考えていこう

◇テーマ（課題）設定・解決に向け、子どもたちが取り組める学習活動やリサイクル活動については、P. 15・16を参考にしよう。

『尾瀬学校』のまとめとして、身近な生活場面で環境に優しい取組を決め、それを実際に行動に移していきましょう！

ま			
と	○尾瀬と環境問題のかかわりについて考えながら、調べる。	1 1	○自分たちの身近な生活だけでなく、社会とのかかわりも意識させたい。
め	○テーマに沿った調べ学習を進める。	1 2 1 3	
・	5「自分たちの考えをまとめて発表しよう」 ～できることから始めよう！～		
表	○日々の生活の中で、環境保全のためにできることを発表し、交流し合う。	1 4 1 5	○班ごとに発表をする。 ○相互交流を図る。 ○実際に行動に移せる具体的な取組を発表する。
現			
生	○尾瀬で学習した観点を生かして、これからの日々の生活につなげていきたい環境にかかわる取組を設定する。 (個人・学年・学校全体)		○今まで自校で取り組んできた環境にかかわる活動と結び付けて、取組内容を設定するようにする。
か			
広			
す			
げ			
・			
る			

学習計画C

【ワークシート中心の学習】

- 1 単元名 「尾瀬からはじまる環境学習」（総合的な学習の時間）
- 2 目標 尾瀬自然体験学習を通して、環境問題への関心を高め、身近な地域の環境保全のために、自分にできることから実践していこうとする態度を養う。
- 3 単元計画 全10時間（尾瀬当日の学習時間は含みません）

過程	主な活動	時間	支援及び留意点
課題の設定 「事前学習」では、尾瀬への関心を高める学習を進めましょう！	1 「尾瀬を知ろう」 ○尾瀬について知っていることを挙げる。 ○尾瀬のビデオなどを見て、尾瀬の概要を知る。 ○尾瀬のプロフィールについて考える。 ○尾瀬についての情報を収集する。 ○ワークシートの答え合わせを通して、尾瀬について詳しく知る。	1 2 3	○尾瀬の概要を視覚的にとらえさせるために、ビデオなどを視聴する。 ○尾瀬への関心を高めるため、ワークシートを用いる。 ○ガイドブックやインターネットなどでポイントを絞って調べさせる。
	★ワークシート①【尾瀬について調べよう】（P. 36～）を使用し、尾瀬について知ろう。		
情報 「尾瀬当日の学習」では、尾瀬の自然を体感することに重点を置きましょう！	○尾瀬でのルール・マナーについて知る。 ◎ガイドによる事前学習 ○尾瀬に関する詳しい説明を聞く。		○ガイドの説明を受け、疑問点などを確認させる。
	2 「尾瀬へ行く準備をしよう」 ○再度、尾瀬に入る際の基本的なマナーや当日の持ち物などを確認する。	5	○マナー・ルールなどをきちんと確認させる。
	3 「尾瀬へ行こう」 ○尾瀬で自然体験をする。 ○ワークシートを用いて、学習を進める。		○ガイドの指示に従って活動する。 ○記入する時間がとれない場合は、メモ程度とする。



「事後学習」では、尾瀬での体験学習を生かして、
 実践生活に繋がる環境に優し
 い取組を考え、実行していきましょう！

の 収 集			<p>★ワークシート②【尾瀬について学ぼう】（P. 36～）を使用し、尾瀬の理解を深めよう。</p> 
整 理 ・ 分 析	<p>4「尾瀬の自然体験学習を振り返ろう」</p> <p>○尾瀬学校でお世話になったガイドにお礼の手紙を書く。</p> <p>○尾瀬の環境問題や環境保護について考えをまとめる。</p>	6 7	<p>○お礼の手紙の書き方（手本）に倣って、心を込めて書く。</p> <p>○尾瀬の学習のまとめとして、ワークシートを用いる。</p>
ま と め ・ 表 現	<p>5「自分たちの考えをまとめて発表しよう」 ～できることから始めよう！～</p> <p>○尾瀬での自然体験学習を通して、日々の生活の中で、環境保全のためにできることを発表し、交流し合う。</p>	8 9 10	<p>○環境問題や環境対策に視点を当てて考えさせる。</p> <p>○各自発表をする。</p> <p>○相互交流を図る。</p> <p>○実際に行動に移せる具体的な取組を発表する。</p>
生 か 広 げ る	<p>○尾瀬で学習した観点を生かして、これからの日々の生活につなげていきたい環境にかかわる取組を設定する。 （個人・学年・学校全体）</p>		<p>○今まで自校で取り組んできた環境にかかわる活動と結び付けて、取組内容を設定するようにする。</p>

2. 課題追究の活動例

【子どもたちが設定したテーマ（課題）との関連を図った取組】

○『尾瀬学校』の学習を「環境教育」に結び付けていく学習については、各学校が工夫を凝らして、様々な活動に取り組んでいます。以下に示す学習活動例は調査結果を基に、環境学習に取り入れられる活動を構成したものです。子どもたちが設定したテーマ（課題）の解決及び、具体的な取組として参考にしましょう。

★テーマ例：尾瀬のトイレ浄化槽対策を調べ、自分たちのこれまでの水の使い方を見直し、節水に取り組んでいこう

★学習活動例：「エコチェックシートを活用した節水・節電へ取り組む」

尾瀬の水の大切さから、日頃の水の使い方を見直し、節水への取組を呼びかけます。そして、‘尾瀬からはじまるエコ活動！エコチェックシート’（P.47,48）を用いて、学校や家庭でCO₂削減に向けてのエコ活動へと取組を広げていきます。

①尾瀬のトイレ浄化槽の現状を調べ、水の大切さを知る。



②毎日の水の使い方の現状を調べ、見直しを考える。



③学校・家庭生活場面での、節水への呼びかけを行う。（節電への呼びかけも行う。）



*エコチェックシートを用いて、実践化を図る。



★テーマ例：尾瀬の植物と外来植物との関連を調べ、植物にとって住みよい環境を作り出すために、自分たちにできる取組を考えよう

★学習活動例：「グリーンカーテンの育成を通して、植物を大切にする気持ちを育てる」

尾瀬の希少植物を調べ、日頃から植物を大切にすることや植物が人間に与える影響などを知らせます。そして、‘グリーンカーテン’の育成を通して、環境保護への関心を高めていきます。

①尾瀬の希少植物について調べ、その大切さを知る。



②生活の中での、植物の存在について考える。



③植物が毎日の生活に及ぼす影響などを知らせ、大切さを呼びかける。



*グリーンカーテンの育成を通して、実践化を図る。



☆テーマ例：尾瀬でのゴミ問題を調べ、自分たちのこれまでのゴミ処理方法について見直し、リサイクル活動に取り組んでいこう

★リサイクル活動例：「不要紙回収から、牛乳パック・エコキャップ回収活動へつなげる」

尾瀬のゴミ問題やその対策を調べ、自分たちのゴミ処理について見直し、リサイクルへの取組を呼びかけます。そして、牛乳パックやエコキャップのリサイクル活動へとつなげていきます。

①尾瀬のゴミ問題について調べ、その対策を知る。



②毎日のゴミ処理の現状を調べ、見直しを考える。



③リサイクル活動への呼びかけを行う。



*クラス内に回収箱を設置して、すべての不要紙を回収する。(学校全体での取組)

*牛乳パックのリサイクル活動

①給食後、牛乳パックをのり付け箇所に沿って開く。(できるだけ平らに)



②クラスごとに水切り付きのトレーにひとまとめにする。(立てて回収)



③当番(日直など)が水ですすぎ、ベランダ等で乾かす。



④翌日、当番が回収場所に持っていく。(自治体や業者へ)



牛乳パックの貴重性や、リサイクルによってできる製品について、学習することが大切です。

*エコキャップのリサイクル活動

①委員会から全校生徒(地域・家庭)へ呼びかける。



②家庭から、エコキャップを持ってきて、所定の回収BOXに入れる。



③ある程度集まったら、関係団体などへ持参または郵送する。

【エコキャップ回収は、様々な団体が行っています。地域によって事情が異なるので、自治体に問い合わせるか、インターネットなどで回収先を調べてください。】



3. 外部機関との連携・活用

○『尾瀬学校』の環境学習の充実を図るための手だてとして、社会教育施設や県の事業、企業との連携があります。以下に示すものは、連携できる施設・事業と、その活用例です。『尾瀬学校』実施以前の年度での活用や、実施年度での「事前・事後学習」に活用し、「尾瀬当日の学習」との効果的な学習を展開していきましょう。

- ① 群馬県立自然史博物館
- ② 群馬県立ぐんま昆虫の森
- ③ 移動尾瀬自然教室
- ④ 移動環境学習車エコムーブ号
- ⑤ フォレストリースクール
- ⑥ 群馬県立尾瀬高等学校
- ⑦ 企 業（東京電力）
- ⑧ 尾瀬ぷらり館

【連携・活用図】

学習時期 県の施設・事業	実施以前の年度 (実施前年等)	事前学習	当日の学習 (雨天時)	事後学習
①群馬県立自然史博物館	【尾瀬への興味・関心】 【課題設定】		【課題解決・環境教育へ】	
②群馬県立ぐんま昆虫の森	【身近な自然への 興味・関心】		【身近な自然への 興味・関心】	
③移動尾瀬自然教室	【尾瀬への 興味・関心】			
④移動環境学習車エコムーブ号		【課題設定】 【環境教育】		【環境 教育へ】
⑤フォレストリースクール				【環境 教育へ】
⑥群馬県立尾瀬高等学校		【課題設定】 【環境教育へ】		
⑦企 業（東京電力）	【尾瀬・環境への興味・関心】			【環境 教育へ】
⑧尾瀬ぷらり館			【尾瀬への 興味・関心】	

①『群馬県立自然史博物館』との連携

常設展示「群馬の自然と環境」では、緑豊かな群馬の自然を館内に再現しています。また、群馬の自然を標高別や地域に分けて、それぞれに特徴的な動植物を展示しています。そして、この展示内に、尾瀬についてのコーナーがあります。たくさんのジオラマや尾瀬シアターで、尾瀬の自然のすばらしさを発見できます。

◎実施前での活用について

- 『尾瀬学校』の実施前に、活用しましょう。
尾瀬はもちろん、自然への興味・関心が高まり、次年度以降の『尾瀬学校』の学習へとスムーズに入っていきます。



◎「事前学習」での活用について

- 尾瀬に行く前の疑似体験的な学習ができます。尾瀬への興味・関心を高めるとともに、課題設定のヒントを得ることができます。

- 展示物を見学するとき、ワークシートを活用することで、尾瀬についての学習を効率よく進めることができます。（ワークシートは、各学校で、事前にWebページよりダウンロードし、印刷して持参してください。）



- スポット解説について…
解説員から、尾瀬ヶ原の泥炭層や特徴的な植物、尾瀬保護活動などについての話を聞くことができます。（10分程度）

- 尾瀬シアターについて…
尾瀬の美しい自然を映像を通して紹介しています。尾瀬の1年間の変化が、マルチスクリーンに映し出されます。（約13分間）

◎「事後学習」での活用について

- 課題解決のための資料を得ることができます。さらに、身近に起こっている環境問題に関するコーナーがあり、自分たちにできる身近な取組について、学習することができます。

- 尾瀬に行っただけで『尾瀬学校』の学習が終わることのないように、環境問題や環境保全につながる学習を進めるきっかけとなるように活用していきましょう。



◎「出前授業」について

○「出前授業」も可能ですが、基本的に12月から3月の期間で実施しています。その他の期間での実施については、相談してください。



「事前学習」・「事後学習」・「出前授業」などで活用を図りたい場合、直接自然史博物館へ電話をして、打合せをしてください。その際、『尾瀬学校』で活用したい旨を必ず伝えてください。そうすることで、その学校に合った学習内容を設定することができます。効果的な連携・活用を図ることができます。

◎「雨天時」の活用について

○事前に電話で予約をしてください。（遅くとも1週間前までに）その際、雨天時の学習内容などを相談しましょう。雨天だからといって、何も準備せずに来館すると、学習は深まりません。ワークシートで学習する場合は、印刷して持参できるように早めに用意しておきましょう。

○スポット解説は、雨天時のみの活用を考えてる場合は、利用できませんので注意してください。

○予約をキャンセルする場合は、早めに電話連絡しましょう。当日の場合は、8時30分過ぎにその旨を電話連絡してください。



☆自然史博物館から…

自然史博物館には、尾瀬に関する様々な資料が準備してあります。尾瀬の展示を通して、なぜ、尾瀬が貴重なのか？ 尾瀬に行く時はどんな点に気を付けたらよいのか？ そして、尾瀬保護のために自分は何をしたらよいのか？ といったことを学んでいただけたらと思います。

『尾瀬学校』の学習で活用してみたい学校は、まずは電話で相談してください。なお、尾瀬学習を進めるためのワークシート（小学生用・中学生用）をご活用ください。（当館Webページより、ダウンロードできます。）

〈連絡先〉

- ・〒370-2345 富岡市上黒岩1674-1
- ・電話 0274-60-1200
- ・FAX 0274-60-1250



②『群馬県立ぐんま昆虫の森』との連携

ぐんま昆虫の森は、身近な自然に直接触れることのできる「発見・体験型施設」です。自然体験、直接体験の少ない子どもたちの豊かな共通体験の場として、県内の小学校の約6割の利用があります。小学校低学年・中学年では『尾瀬学校』へつながる前段階として昆虫の森を活用し、身近な自然に触れる「自然体験学習」を充実させましょう。

◎ぐんま昆虫の森とは =昆虫の森で、子どもたちと感動の共有を=

45haの里山には、雑木林、草地、田畑、小川や池などの多様な環境があり、本物のすみかで、生きた昆虫に触れたり、観察したりすることができます。さらに当園では、学校利用に向けた体験型の野外・館内プログラムを整え、事前の実地踏査・打合せを通して先生方と連携し、オーダーメイドの実施計画案の下、「自然体験活動」充実に向けたサポートを行っています。子どもたちは、初めて触れる昆虫に目を輝かせながら、自然との距離を縮めています。

- 自然体験プログラム ※ミニ登山や、かやぶき民家見学、お弁当利用もできます。
 - *野外ポイント解説（60分/要予約）3つの異なる環境で昆虫解説員がアドバイス
 - *体験ウォークラリー（60分/要予約）野外で8つの自然体験に挑戦
 - *クイズラリー（60分/要予約）野外・館内の5つのクイズに挑戦
 - *昆虫の森オリエンテーリング（120分/要予約）森の昆虫マーク集めに挑戦
- 館内体験プログラム ※温室や図書館、昆虫学習トンネル、展示見学もできます。
 - *昆虫館たんけん（60分/要予約）館内で8つの問題に挑戦 ※雨天時補完プログラム
 - *ミニクラフト（15分/要予約）「飛びチョウ」作りに挑戦
 - *映像視聴（15分/要予約）昆虫の生態などの当園作成の楽しい映像の視聴

◎実施以前での活用について

○小学校低学年・中学年では、『尾瀬学校』へつながる前段階として、昆虫の森を活用し、身近な自然により多く触れる「自然体験学習」を充実させましょう。尾瀬はもちろん、自然への興味・関心が高まり、次年度以降の『尾瀬学校』の学習へとスムーズに入っていきます。



◎「事前・事後学習」での活用について

○昆虫の森で、身近な自然に触れることで、『尾瀬学校』の学習と関連・対比させながら、尾瀬に行く目的や準備、自然保全の観点につなげていきましょう。



◎「雨天時」の活用について

○事前に電話で予約をしてください。（1ヶ月前までにお願ひします。）
その際、雨天時の実施計画などを相談しましょう。
館内見学は「本館」「別館」など、先生方の引率での活用となりますので
昼食場所の確認と併せ、事前の下見をお勧めします。

○雨天時に「館内体験プログラム」を希望する場合は、事前の予約・下見が
必要です。「昆虫館たんけん」を実施する場合は、ワークシートを印刷し
持参してください。※「自然観察プログラム」は雨天時中止です。



○予約をキャンセルする場合は、当日の8時30分頃までに電話連絡してく
ださい。

◎連携・活用に当たってのお願い

○春から秋には多くの利用があります。雨天時と同様、1ヶ月前までに電話
で利用状況を確認の上、予約をしてください。先生方と連携し、有効活用
を図るために、下見をお勧めします。日程を相談してください。
○予約プログラムは、時間による定員制です。先着順にニーズに合わせて受
け付けています。お早めにご相談ください。



☆ぐんま昆虫の森から…

昆虫の森は、子どもたちの豊かな感性に働きかけるきっかけとなる環境や
利用内容を準備しています。小学校低・中学年での「昆虫の森」の学習は、
高学年・中学校での『尾瀬学校』に向けた先行体験として高い効果がありま
す。季節や天候を問わず利用できますので、何度でもご利用ください。

学校利用については、遠慮無く、問い合わせ・ご相談ください。

詳しくは「学校団体利用の手引き」をご覧ください。当園Webページよ
り、ダウンロードできます。

〈連絡先〉

- ・〒376-0132 桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
- ・電話 0277-74-6441
- ・FAX 0277-74-6466



③ 『移動尾瀬自然教室』 との連携

子どもたちの自然や環境に対する意識を高めることを目的にした出前授業です。希望する各学校へ直接講師が出向き、スライドや小道具を使い、クイズも交えて分かりやすく話をします。子どもたちは、楽しみながら尾瀬の自然の仕組みや尾瀬と人とのかかわり、さらには広く環境保全について学ぶことができます。

◎実施年度以前での活用について

○学習を早くから進める場合や深めたい場合は、『尾瀬学校』の実施年度の前年などに、移動尾瀬自然教室を実施しましょう。
尾瀬への興味・関心をより高めて、『尾瀬学校』の学習へと入っていただけます。
例えば…小学校3, 4年生で移動尾瀬自然教室を実施する。
そして、5, 6年生の『尾瀬学校』につなげていく。



○尾瀬に詳しい解説員が講師を務めるので、尾瀬への興味・関心を高めるとともに、尾瀬への理解を深めることができます。



○学習内容（テーマ）の詳細は、各学校との事前の打合せで決めます。
以下はテーマの例です。参考にしてください。

- ・ 尾瀬の自然
（例） 湿原の成り立ち、尾瀬に生育する動植物とそのつながり、気象・気候の特徴など
- ・ 自然と人とのかかわり（尾瀬の歴史的な背景や位置付け）
（例） ダムや道路の開発、水質悪化、湿原の裸池化、国立公園、天然記念物
- ・ 自然を守るための取組
（例） 植生復元作業、木道・トイレ施設整備、交通規制など
- ・ 尾瀬にかかわる人々（尾瀬に関わる様々な人々の取組の紹介）
（例） ビジターセンター職員、歩荷さん、山小屋、ボランティア、自然保護団体
- ・ 身近な自然を考える
（例） 学習を通して、身近な自然を振り返る
環境を守るために自分たちができることを考える

◎『尾瀬学校』実施年度へのつながりについて

○テーマに沿った学習内容を受けて、それを参考に、尾瀬に行くときの課題設定のためのヒントにしましょう。

○解説員の話を通して、子どもたちは身近な自然について考え始めます。ここから、環境問題や環境保全につながる学習を進めていき、『尾瀬学校』の学習へ生かしていきましょう。



◎連携・活用に当たってのお願い

○なるべく、実施希望日2ヶ月前までに申し込んでください。費用は無料です。

- 学習時間は、2時限をお勧めします。
- 実施教室（会場）は、理科室や視聴覚室など、暗くできる教室を用意してください。（暗幕がある部屋が適当です。）
- 複数学年での実施や、1学年の人数が100名を超える場合は相談してください。



☆移動尾瀬自然教室から…

尾瀬や自然環境への理解・関心を深め、創造性豊かな子どもの育成に貢献します。教室終了後、「尾瀬に行ってみたい」とか、「身近な自然を改めて見つめ直すきっかけになった」、「将来は自然を守る仕事がしたい」などの感想が聞かれています。

〈連絡先〉

- ・群馬県 環境森林部 自然環境課 尾瀬保全推進室
- ・〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
- ・電話 027-226-2881
- ・FAX 027-220-4421



④ 『移動環境学習車エコムーブ号』との連携

屋根に「太陽光発電装置」を取り付けた「天然ガス」を燃料として走るトラック（2t車）です。以下の登載品を会場に合わせて自由にレイアウトすることで、体育館や会議室などが、環境科学館や環境実験室に早変わりします。子どもたちが、見たり、さわったり、体験を通しながら環境問題を楽しく学習することができます。

- * 電動仕掛けその他の展示品
- * 地球温暖化などの環境実験装置
- * 大気や水質、騒音等の調査測定機器
- * その他（省エネ体験、自然観察、視聴覚機器）

○環境学習サポーターによる「動く環境教室」での実施例です。
学習内容（テーマ）は、以下のとおりです。

1回の環境教室で取り扱うテーマは、上限3テーマまでです。

1. 水の汚れを調べよう
 - ・ 試薬を使って、色が変わる状況を調べます。
2. 地球が暖くなる仕組みを確かめよう
 - ・ 二酸化炭素をライトで暖めて、温度変化を調べます。
3. 自動車から出る排気ガスの汚れを調べよう
4. ゴミについて調べてみよう
 - ・ ゴミの量やその行方、リサイクル方法について学習します。

◎新しい実験も計画・準備中です。詳しい実験内容などについては、問い合わせください。

◎「事前学習」での活用について

○環境について、広く学習できます。尾瀬の環境とのかかわりを意識しながら学習が進められるように、事前に尾瀬の環境保全への取組内容などを学習しておく効果が上がります。

○3つのテーマ別に班に分かれて、学習を行います。そのためにも、事前に関心のあるテーマについて学習しておくのがいいでしょう。

○テーマに沿った学習を進めることで、「課題設定」のヒントや、調べ学習のための資料を得ることができます。



◎「事後学習」での活用について

○学習する内容（テーマ）が決まっているため、広く環境学習として活用できます。尾瀬の環境保全と身近な環境問題とのかかわりを考えながら学習を進めていきましょう。

○実験や体験を通して環境問題が学習できるため、子どもたちの環境への意識向上や実践力へとつなげていくことができます。



◎連携・活用に当たってのお願い

○まずは電話連絡で、内容などの問い合わせや相談をしてください。随時受付をしています。「動く環境教室」の場合は、費用は無料です。

○学習時間は、2時間をお勧めします。
○実施教室（会場）は、体育館、会議室など、子どもたちが学習しやすい広い場所が必要です。
○複数学年での実施や、1学年の人数が100名を超える場合は相談してください。学校事情により、午前と午後や2日間の日程での実施も可能です。



○実施に当たって準備するものではありませんが、実施するプログラムによっては、学校側に準備をお願いするものもあります。（地域の池の水や川の水など）なお、学習は、小・中学校別の実験ノートを使用して進めていきます。

☆エコムーブ号から…

学校で行われる環境学習を応援しています。県に登録した環境学習サポーターが、直接各学校に出向き、掲載されている展示品や実験器具を使って、環境学習をサポートします。また、ビデオや環境に関する本の貸出も行っていますし、環境に関する様々な質問にもお答えします。

遠慮無く、問い合わせ・ご相談ください。

〈連絡先〉

- ・群馬県環境サポートセンター
- ・電話 027-232-9045
- ・FAX 027-232-9046



⑤ 『フォレストリースクール』 との連携

子どもたちが、身近な校庭の木々や河川についての学習、森林での自然・環境学習、森林の持つ機能や多様性に気付く学習、森林・林業の体験学習などを通して、森林や山の果たす役割について学ぶことができます。各学校のニーズに応じて、森林環境教育に携わる外部講師が学習内容の企画などをコーディネートします。

○学習内容は、学校と相談して決めていきます。
これまで実施してきた主な学習内容は以下のとおりです。参考にしましょう。

* フィールドワーク

- ・校庭での自然観察学習（植物・生き物）、ネイチャーゲーム
- ・校内樹木を使用した木の遊びの紹介、自然工作
- ・身近な河川での水質調査、生物観察
- ・森林での体験学習（間伐、下刈り作業）
- ・炭焼き体験学習

* 講義

- ・森林の果たす役割
- ・森の生き物、森の仕事
- ・山の役割

◎ 「事前学習」での活用について

○学校付近の身近な自然への興味・関心を高めることができます。
また、「課題設定」のヒントを得ることもできます。



◎ 「事後学習」での活用について

○森林の学習が中心と考えがちですが、『尾瀬学校』の学習後に地域の自然との関連を図りながら、そこから様々な環境学習へと意識を広げていくことができます。

○実際の樹木や草花などの自然を教材とした、屋外での学習・体験学習を通して、環境への意識を高めていくことができます。



○理科との関連を図ることで、効果が上がります。

◎連携・活用に当たってのお願い

○フィールドワークと講義を組み合わせることもできます。

○学校行事の「林間学校」や「遠足」などでの自然観察会に、外部講師を派遣します。

○森林体験学習を希望する場合、移動のためのバス代も予算の範囲内であれば負担できます。相談してください。

○学校近くに里山や学校林がある場合は、活用が図りやすくなります。

○講師派遣などの調整があるので、申込みは4月中にお願いします。



☆フォレストリースクールから…

今は、山が近くにあっても、山に入ったり、山で遊んだり、山のことを知らない子どもたちがたくさんいます。山や森林の学習を通して、地域の自然を考えていきましょう。

環境に関する様々な学習に対応できますので、ご相談ください。

〈連絡先〉

- ・群馬県 環境森林部 緑化推進課 緑化推進係
- ・〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
- ・電話 027-226-3272
- ・FAX 027-223-0463



⑥ 『群馬県立尾瀬高等学校』との連携

自然環境棟（尾瀬情報センター）があり、尾瀬に関する様々な情報が蓄積されているので、事前・当日・事後の学習に活用できます。また、自然環境科の生徒たちが、日頃の学習で培った知識と経験、または自然環境棟の貴重な資料を活用することで、尾瀬学校に参加した子どもたちが尾瀬について考え、話し合う機会を提供しています。

◎ 「事前学習」での活用について（尾瀬の学習を始める前に）

○尾瀬の学習を進めていく上での「学習計画作り」のお手伝いをしてくれます。疑問点などの相談に応じ、実施校を支援してくれます。



◎ 「当日の学習」での活用について

○尾瀬での学習終了後に尾瀬高校を訪問することで、その日の内に学習の振り返りができます。自然環境科の生徒が、小・中学生のグループに入って話し合いを進めてくれるので、学習を深めることができます。
（1時間程度：30分グループ学習・30分自然環境棟見学）
○現地の学習（滞在）時間を1時間程度短くし、尾瀬高校を活用してもいいでしょう。



◎ 「雨天時」の活用について

○当日に、雨天などで早く尾瀬での学習を終了した場合、上記のような活用ができます。（当日・雨天時での活用ともに、予約が必要です。）



◎ 連携・活用に当たってのお願い

○「学習計画作り」の相談は電話連絡後、電子メールで対応します。『尾瀬学校』の実施が決まったら、相談してみましょう。



☆尾瀬高等学校から…

尾瀬のお膝元にあるため、『尾瀬学校』の学習に、できる限りの協力をしたいと考えています。高校生が尾瀬の研究もしていますので、小・中学生との交流学習を進めていきましょう。

〈連絡先〉

- 〒378-0301 沼田市利根町平川1406
- 電話 0278-56-2310 ・FAX 0278-56-3720
- 電子メール oze-n@oze-hs.gsn.ed.jp（自然環境科代表）



⑦企業との連携

*「東京電力」との連携

東京電力は、尾瀬での自然環境保全活動に力を入れています。連携を通して、尾瀬の概要とともに、それらの活動について知ることができます。そして、尾瀬での具体的な取組を通して、環境保全への意識を高めることができます。また、環境・エネルギー教育支援活動にも力を入れています。発電の仕組みや地球環境問題、生活に密着した電気のことを知ることで、環境保全への意識が高まります。

いずれも『尾瀬学校』実施年度以前から、事前・事後学習での連携、そして活用を図ることができます。

◎尾瀬での自然環境保全活動

○東京電力の取組を通して、尾瀬の概要を知ることができ、尾瀬への興味・関心を高めることができます。

○例えば、木道の整備を通して、木道のリサイクルや植生復元などの取組について知ることができます。木道の学習から、尾瀬への興味・関心を高めることができます。



◎環境・エネルギー教育支援活動

○子どもたちが日常生活において、すぐに実践できる活動・取組について、学ぶことができます。

○身近な電気を通して、エネルギー問題や毎日の電気の使い方などを考えることにつながります。



◎連携・活用に当たってのお願い

○詳しい内容等を知りたい場合は、電話で問い合わせ・相談してください。
(実施1ヶ月前くらいまでをお願いします。連絡先は次頁参照)



◎その他の取組・活動について

「尾瀬ECOガイドツアー」

東京電力の専門ガイドによる、教員向けの尾瀬案内ツアーです。学校内の研修や、複数の学校での合同研修で活用できます。15名以上で申し込んでください。バス代は補助が出ます。

まずは、教員が尾瀬の自然や環境保全の取組について知ることが大切です。きっと、子どもたちへの支援・指導に役立ちます。

⑧ 『尾瀬ぷらり館』との連携

群馬県片品村の村営施設です。東京電力自然学校（尾瀬・戸倉）の活動拠点の一つとして、尾瀬・戸倉地域の生態系、動植物、尾瀬の自然をはぐくんできた地域の文化・産業、自然保護の歩みなどを、実物やパネルなどを利用して紹介しています。また、地元尾瀬高校の協力を得て、尾瀬をフィールドとした地元ならではの研究なども紹介しています。尾瀬のことをよく知る館員が質問にも答えてくれます。入館無料です。

（来館した人が参加する季節に応じた自然観察プログラムも実施しています：有料）

・利根郡片品村戸倉736-1 ・電話 0278-58-7263

◎活用について

○天候不良などで時間調整をするとき、尾瀬に到着する前の‘直前学習’として、活用することができます。

○解説員が在駐しているので、展示内容についての説明を受けることができます。

○突然の雨での活用はもちろん、体調不良などで班活動が行えない子どもの学習の場としても活用できます。（場所は、戸倉第一駐車場の近くです。）

○1階が展示室、2階がやや広めの会議室になっています。2階会議室を使用して、全体学習を行うこともできます。（子どもの人数によっては、対応できないこともあります。）



☆東京電力から…

東京電力は長年にわたり、尾瀬の自然保護や発電所の緑地保全・創出に取り組んできました。未来を担う子どもたちに「電気をつくること」と「環境を守ること」について関心をもっていただけるよう、環境教育を支援しています。子どもたちへの環境学習はもちろん、先生方への研修会も計画していますので、ご活用ください。

〈連絡先〉

- ・電話 0120-99-5222（群馬カスタマーセンター）
- ・FAX 027-225-1512



4. 他教科・道徳との関連

○『尾瀬学校』の環境学習を進める上で、他教科や道徳との関連を図ることも大切であり、効果が期待できます。しかし、無理に関連を図ろうとするのではなく、様々な学習や活動場面を通して、子どもたちの環境に対する関心を高めていくことが大切です。

以下に示す実践校の学習例を参考に、『尾瀬学校』と環境教育を関連付けて学習を進めていきましょう。

校種	教科	単元・題材名	環境教育との関連
小学校	国語 社会科 理科	読み物「森へ」 昔の人の暮らし 水はどこから 気温の変化と天気 電気のはたらき ものの燃焼と空気	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のもつ威厳に気付き、自然への愛着に結び付ける。 ・昔の生活の知恵を知り、毎日の生活のエコ活動につなげる。 ・森林や山の役割や働きについての理解を深める。 ・異常気象の原因や温暖化についての関心を高める。 ・電気の学習を通して、電気エネルギーへの関心につなげる。 ・CO₂の発生メカニズムを知り、削減への意識につなげる。
	家庭科 図工	楽しい食事 風で動く車	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱費を節約し、食材を無駄なく使って、朝食を作る。 ・風の力で動く車作りを通して、風力発電への関心につなげる。
	道徳		<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとふみ十年」（学研：小学校5年）（3-1自然愛，環境保全） ・「愛華さんからのメッセージ」（東京書籍：小学校6年）（3-1自然愛，環境保全）
中学校	社会科 理科	地理分野 自然の姿 天気とその変化 運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題を扱った新聞記事を活用する。 ・季節や天気の変化が及ぼす生活の変化について考える。 ・異常気象の原因や温暖化についての関心を高める。 ・エネルギー源の変化を知り、エネルギーへの関心を高める。
	家庭科	消費と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の消費生活の見直しを行い、環境保全への意識を高める。
	道徳		<ul style="list-style-type: none"> ・「この地球に生まれて」（心のノート：中学校）（3-1 自然愛，自然への畏敬）

各学校が今まで取り組んできた環境教育を生かしながら、身近な環境に結び付けて学習していきましょう！



5. ガイドとの連携 Q&A

○『尾瀬学校』の「事前学習」の一環として、ガイドが各学校を訪問して尾瀬についての学習をする時間があります。児童生徒の学習はもちろん、教員にとってもガイドと打合せができる貴重な時間になります。ガイドは尾瀬散策の所要時間に詳しいので、この時に当日の行程や時間配分などの相談をすると、より効果的に『尾瀬学校』を実施することができます。上手に連携を図っていきましょう。また、「尾瀬当日の学習」でも上手に時間を生み出し、ガイドとの連携を図ることで、尾瀬での学習が有意義なものとなります。事前に学校（教員）とガイドとが十分に打合せをして“共通理解”を図っていくことで、『尾瀬学校』を実りあるものにしていきましょう。

Q 1 : 「事前学習」の時に、ガイドさんが学校へ来て、尾瀬の話などをしてくれますが、事前に細かい打合せはできますか？



A : 打合せはできますが、事前学習の前に学校に来てもらうことはできないので電話の他にFAXやメールを活用して要望などを伝えるようにしましょう。



Q 2 : 尾瀬の学習を充実させるために、子どもたちへの話の内容については、どんなことをお願いするといいいですか？



A : 尾瀬の学習を環境へと結び付けていきたいと考えている学校が多いと思います。尾瀬が今抱えている環境問題や、そのために取り組んでいる環境対策など、環境に関する話をしてもらえるといいですね。また、ガイドさんは尾瀬についてとても詳しく、ガイド経験も豊富なので、体験談やガイドさんからの要望（お願い）を伝えてもらうのもいいでしょう。写真や実物を示しながら話をしてもらえると、子どもたちの尾瀬や環境への関心も高まると思うのでお願いしてみましょう。



Q 3 : 子どもたちへの話の後に、ガイドさんと教員との打合せはできますか？できるのであれば、教員間でどんなことを話し合っておくといいいですか？



A : できます。事前に、教員間で確認しておきたいことやお願いなどを話し合っておきましょう。特に、学校側の考え（尾瀬での学習に期待していること・これまでに学習してきた内容など）を伝えられるようにしておきましょう。この打合せの時間で、共通理解を図りましょう。



Q 4 : 共通理解を図る上で、ガイドさんとの打合せの時に、どんなことを確認しておくといいですか？



A : まずは、当日の流れです。基本的に鳩待峠に到着すると、すぐに班活動が始まります。混雑のため開校式は行われなことが多いので、行きのバスの中で注意点などは確認しておきましょう。また、閉校式は行われることが多いので、その場所や並び方、次第をしっかりと決めておきましょう。

子どもたちが課題を設定している場合は、その内容を伝えておくと、当日ポイントを絞った班の活動が行えると思います。特に、事後学習のことを考えて、環境についての話をしてもらったり、子どもたちから質問したりすることをお勧めします。

当然のことですが、配慮を要する子どもの確認も忘れずにおきましょう。当日、雨天の場合や雨天が予想される場合の対応についても、必ず確認しておきましょう。

(雨天時の対応については、‘雨天時の対応Q & A’へ P. 34～)

Q 5 : 事前での打ち合わせが終わると、当日までガイドさんと打ち合わせはできないのですか？



A : 再度、場所を設定しての打合せはできないと思います。変更点や疑問点、新たなお願いなどが出てきた場合は、ガイドさんに直接電話連絡をして話してください。尾瀬当日まで（尾瀬当日もそうですが）、ガイドさんが頼りになりますので、連携をしっかりと取っていくことが大切になってきます。

Q 6 : 当日のガイドさんとは、打合せや話をするすることができますか？



A : 基本的に、各ガイドさんと細かい話はできないと思います。しかし、当日は最短でも戸倉から鳩待峠までガイドさんがバスに同乗します。その時に、ガイドさんから直前学習(*)として、尾瀬での活動に際しての注意点などが話されます。お願いや確認しておきたいことがあれば、その後に話しておきましょう。(配慮児童・生徒の確認、子どもたちの課題など)

また、しおりがあれば、ガイドさんに渡しましょう。班の子どもたちの名前や課題を知らせることができます。

(*) ここでの直前学習は、当日の行きのバス内で、ガイドが実施する学習です。

6. 雨天時の対応 Q&A

○『尾瀬学校』の学習の中心は、「尾瀬当日の学習」です。この当日が、必ず晴天とは限らず、雨天の場合もあります。また、尾瀬に到着して、班活動が始まってから雨が降り出すということも考えられます。当日になって慌てないためにも、雨天時の対応は十分に考えておく必要があります。この場合も、ガイドとの連携が大切になってきます。

Q 1 : 尾瀬に行く当日が、天気予報などで雨になりそうな場合、どのような対応を考えておけばいいのですか？



A : 基本的には、台風や豪雨などの荒天以外は、実施するという考えをもってください。ただし、荒天時の対応については、事前学習時のガイドさんとの打合せで、次のページの流れに沿って決めておきましょう。

Q 2 : 尾瀬に到着してから急に雨が降ってきて、班の活動が実施できなくなった場合は、どうすればいいですか？



A : 急に雨が降ってきて、午前中で班の活動を切り上げなければならなくなった場合などは、次の施設を活用してみましょう。

戸倉第一駐車場の近くに「尾瀬ぷらり館」という施設があり、尾瀬についての展示物などを活用できます。また「尾瀬高校」も活用できます。(要予約) 詳細は「外部機関との連携・活用」(P. 17~)をご覧ください。

Q 3 : 出発地(学校)が晴れていても、尾瀬は雨という場合もあると思います。この確認はどのようにすればいいですか？



A : 天気予報で、尾瀬戸倉地区の天気を常にチェックしておくことが必要です。尾瀬保護財団のWebページ上の「今朝の山の鼻」で、最新の天気予報などをお知らせしています。前日・当日(朝7:00更新)に確認しましょう。(携帯電話からでも見られます。)また、当日の朝に、ガイドさんと連絡を取り合い天候を確認しましょう。山の天気は変わりやすいので、急な雨の対応はしっかりと考えておくことが大切です。

◎荒天（台風・豪雨）時対応の流れ

○まずは…

荒天順延になった場合、日程やガイドとの調整が難しくなるため、多少の雨ならば、実施しましょう。

* 事前のガイドとの打合せ時に、次のどの案で対応するかを決めておきましょう。

- ・ A案：荒天延期として、学校で学習する
- ・ B案：荒天延期として、別の場所（尾瀬以外）で学習する
- ・ C案：中止する（学校で学習する、もしくは別の場所で学習する）

* A・B案：延期して、他の施設での学習となった場合、他の施設に行くバス代補助は出ませんので注意しましょう。

* C案：中止した場合、バスキャンセル料、または他の施設に行く経費は補助対象となります。

○事前の対応

できるだけ、早めに予約をしておきましょう！

事前

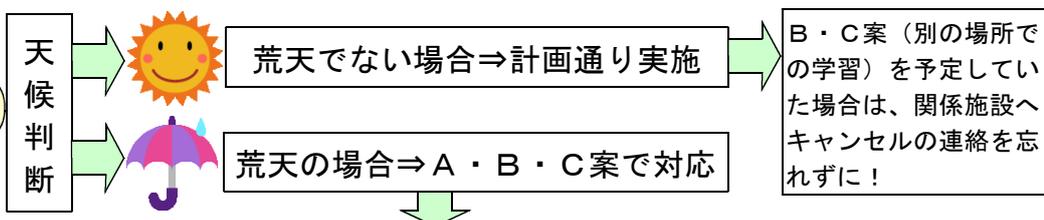
- ・ A案：特に事前での対応はありません。
- ・ B案：事前に雨天時でも連携・活用が可能な施設と連絡を取り合い、予約をしておきましょう。
【連携可能な施設：自然史博物館、ぐんま昆虫の森、尾瀬高校】
- ・ C案：別の場所で学習する場合、予約をしておきましょう。
《注意》いずれの場合も、市町村教育委員会へ連絡をしておきましょう。

各施設の詳細は、‘外部機関との連携・活用’（P. 17～）の項をご覧ください。

○当日の対応

ガイドさんと連絡を取り合い、決定しましょう。

当日



- ・ A案：担当ガイド・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡 → 日程調整 → 後日実施 [学校内で学習]
 - ・ B案：担当ガイド・関係施設・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡 → 関係施設へ移動・学習
 - ・ C案：担当ガイド・市町村教育委員会・群馬県尾瀬保全推進室に連絡
- ★注意【B案での対応（他の施設で学習）となった場合、
バス代補助は1回だけなので、再度尾瀬に行くための補助は出ません。】

7. ワークシート・チェックシートについて

『尾瀬学校』ワークシート

○『尾瀬学校』の学習を進める上で、「事前」・「尾瀬当日」・「事後」のそれぞれの学習で活用できるワークシートです。

- ・①「尾瀬について調べよう」1・2・3（事前学習）では、尾瀬についての調べ学習から課題設定のヒントにつなげていくことができます。
- ・②「尾瀬について学ぼう」（当日の学習）は、当日の感想などをまとめるものです。当日は、記入する時間がとれないこともあるので、メモを取ったり、バスの中で記入したりしましょう。
- ・③「尾瀬についてまとめよう」（事後学習）では、尾瀬で見て感じてきたことを環境保護に結び付けたり、課題設定・解決のためのヒントにつなげていくことができます。

*小学校用と中学校用があります。①「事前学習」用は、小・中で異なりますが、②「当日の学習」と③「事後学習」用は、小・中共通です。

エコ活動チェックシート

○『尾瀬学校』のまとめの学習として、学校や家庭で、環境に優しい取組を実践していくために活用できるシートです。

「課題追究活動の例」（P. 15～）を参考にしましょう。

- ・学校用では、「尾瀬からはじまるアクション月間」として、一週間単位で、自己のエコ活動をチェックしていきます。
- ・家庭用では、「尾瀬からはじまるアクション週間」として、一週間、CO₂削減に向けて、家庭の協力を得ながらエコ活動をチェックしていきます。

*いずれの活動においても大切なことは、『尾瀬学校』の学習で、子どもたちが身に付け、考えるようになった環境問題や環境保護への気持ちを、日常の生活に結び付けていくことです。『尾瀬学校』との関連を常に意識しながら、活動に取り組んでいきましょう。

『尾瀬学校』ワークシート① (事前学習：小学校)

～ 『尾瀬』 について調べよう1 ～

「尾瀬ミニブック」などを参考にして、調べてみよう！

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名
-----	---------	-------	-----

☆尾瀬について、知っていることがあれば、書いてみよう！

☆尾瀬について、いただいている（もっている）イメージを書いてみよう！

1 尾瀬について の中に言葉や数字を入れましょう。

尾瀬は2つの大きな山 ・ と

尾瀬ヶ原（湿原）や尾瀬沼を囲む山々を含んだ地域をいい、

3つの県にまたがっています。

右の地図で、尾瀬の位置はA～Cのどこでしょうか？

また、3つの県は何県ですか？

位 置 3つの県名

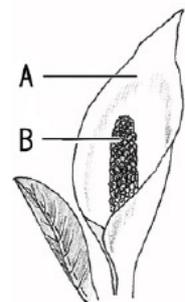


2 ミズバショウの花について調べましょう。

Aの部分を何というでしょうか？

Bの部分は棒のように見えますが、何かが集まってできています。

何の集まりでしょうか？



～ 『尾瀬』 について調べよう2 ～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-----	---------	-------	-----	--

3 尾瀬ヶ原や尾瀬沼では、季節によって様々な草花が咲きます。次の花は何月頃に見られる花でしょうか。

に書きましょう。また、同じ頃、他にどんな草花が見られるか書きましょう。

ミズバショウ

月

ニッコウキスゲ

月

コバキボウシ

月

4 尾瀬には、名前に「オゼ」がついた動物や植物がたくさんあります。「オゼ」がつく動物や植物について調べてみましょう。

「オゼ」がつく動物	
「オゼ」がつく植物	

5 尾瀬には特徴的な地形や動植物などがたくさんあります。次に示す①～⑤の中から、興味のあるものを2つ選んで、そのことについて調べてみましょう。

- ①池塘（ちとう） ②ケルミとシュレンゲ ③拋水林（きよすいりん）
 ④ナガバノモウセンゴケ ⑤尾瀬のトンボ

～『尾瀬』について調べよう3～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名
-----	---------	-------	-----

6 尾瀬を保護するために、いろいろな工夫がされています。□□□□に言葉を入れましょう。

尾瀬ヶ原には、湿原を守るために設置されている木でできた橋のような道があります。

これは □□□□ と呼ばれ、群馬県側だけでも □□□□ km もあります。

では、このような道がどうしても必要なのだと思いますか？

--

トイレとゴミについて、尾瀬の取組を調べてみましょう。

トイレは？	
ゴミは？	

7 あなたは尾瀬に行ったとき、何を見てきたいですか？ あなたの考えを書きましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

* 出 典：群馬県立自然史博物館Webページ 「尾瀬について調べよう」ワークシートより抜粋

『尾瀬学校』ワークシート① (事前学習：中学校)

～ 『尾瀬』 について調べよう1 ～

「尾瀬ミニブック」などを活用して、調べてみよう!

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名
-----	---------	-------	-----

☆尾瀬について、知っていることがあれば、書いてみよう!

☆尾瀬について、いただいている(持っている)イメージを書いてみよう!

1 尾瀬について の中に言葉や数字を入れましょう。

尾瀬は、2つの大きな山 ・ と、

尾瀬ヶ原(湿原)や尾瀬沼を囲む山々を含んだ地域をいい、3つの県にまたがっています。

右の地図で、尾瀬の位置はA～Cのどこでしょうか?
また、3つの県は何県ですか?

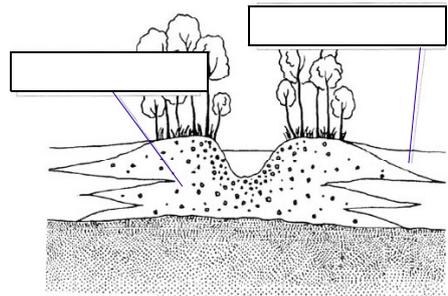


位 置 3つの県名

2 尾瀬ヶ原では、川の流れに沿って林が見られます。下の図は、その林の横断面を示したモデル図です。これを見て質問に答えましょう。

このような川の流れに沿った林を何といいますか。
()

右の図の に当てはまる語句を入れましょう。



～ 『尾瀬』 について調べよう2 ～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名
-----	---------	-------	-----

3 尾瀬ヶ原の湿原はどのようにしてできているのでしょうか。()の中に言葉を入れて文を完成させましょう。

尾瀬ヶ原は、標高が約 () mもあり、気温が非常に低いところです。そのため植物が枯れてもなかなか腐らずに積もっていきます。このような枯れ草を含んだ水は () 性になるので、枯れ草はさらに腐りにくくなって堆積します。これが () となって、尾瀬ヶ原の湿原をつくっています。

4 尾瀬には非常に長い距離の木道が設置されています。もしも湿原を踏みつけると、どのような変化が起こりますか。正しい順に並べましょう。

A. 乾燥した裸池（らち）ができる B. 植物が枯れる C. 泥炭が雨水で流される
人が踏みつける ⇒ () ⇒ () ⇒ ()

5 尾瀬には、特徴的な地形や動植物などがたくさんあります。次に示す①～⑦の中から、興味のあるものを2つ選んで、そのことについて調べてみましょう。

- ①池塘（ちとう） ②ブルテ ③ケルミとシュレンケ ④扱水林（きょすいりん）
⑤高層湿原・中間湿原・低層湿原 ⑥ナガバノモウセンゴケ ⑦尾瀬のトンボ

～ 『尾瀬』 について調べよう3 ～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名							
<p>6 尾瀬の保護について調べ、() に言葉を入れましょう。</p> <p>尾瀬は、自然公園法という法律で国立公園の () に指定され、また、文化財保護法という法律で () に指定されています。そのため、勝手に植物を採取したり、山小屋を作ったりすることはできません。尾瀬を保護するために工夫されている以下のことについて、調べてみましょう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">歩く道は？</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> <tr> <td>トイレは？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゴミは？</td> <td></td> </tr> </table>					歩く道は？		トイレは？		ゴミは？	
歩く道は？										
トイレは？										
ゴミは？										
<p>7 あなたは尾瀬に行ったとき、何を見てきたいですか？ あなたの考えを書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> </div>										

* 出 典：群馬県立自然史博物館Webページ 「尾瀬について調べよう」ワークシートより抜粋

『尾瀬学校』ワークシート② (当日の学習) 共通

～ 『尾瀬』 について学ぼう～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名	
<p>☆尾瀬の印象を書いてみよう！</p>				
<p>☆来る前にいただいていた (もっていた) イメージと違いがあれば書いてみよう！</p>				
<p>☆ガイドさんの話で、印象に残った話があったら、書いてみよう！</p>				
<p>☆印象に残ったり、感動した自然があったら、書いてみよう！</p>				
<p>☆尾瀬の環境問題や環境を守るための取組で、心に残ったことがあったら、書いてみよう！</p>				



『尾瀬学校』ワークシート③ (事後学習) 共通

～『尾瀬』についてまとめよう～

学習日	月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-----	---------	-------	-----	--

○尾瀬に行って、たくさんの自然に触れ、たくさんのことを感じたことでしょう。そして、環境についても考えるようになったことでしょう。

1 どうして尾瀬は貴重（大切）なのでしょう？ あなたの考えを書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>

2 尾瀬の大切な自然を保護する（守る）ために、あなた自身はどのようなことを心がけたら良いと思いますか？ あなたの考えを書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/>

3 毎日の生活の中で、自然や環境を保護するために、あなた自身が取り組んでいこうと考えていることはありますか？ あなたの取り組んでみようと思うことを書きましょう。（すでに取り組んでいることでもいいです。）

<hr/> <hr/> <hr/>

《ワークシート解答例》

☆小学校 ワークシート①『尾瀬について調べよう』

- 1** (山の名前) ^{しぶつさん} 至仏山・^{ひうちがたけ} 燧ヶ岳
(位置) A (3つの県名) 群馬県 福島県 新潟県
- 2** (Aの部分) ^{ぶつえんほう} 仏炎苞 (Bの部分) 花
- 3** ミズバショウ 6月 (他の草花) ワタスゲ、ショウジョウバカマなど
ニッコウキスゲ 7月 (他の草花) サワラン、トキソウなど
コバキボウシ 8月 (他の草花) オゼミズギク、オゼヌマアザミなど
- 4** 動物 オゼイトトンボ オゼマイマイ オゼウンカ オゼミズギワカメムシ
植物 オゼコウホネ オゼソウ オゼミズギク オゼヌマアザミ

5 ①池塘

尾瀬ヶ原にある大小様々な形をした池のこと。数は約 1500 ほど。深さは数 10cm の浅いものから、3m を越えるものまでである。大きさは直径 2~3m から、100m ほどの細長いものなどいろいろである。池塘は、その深さによって水生植物が生育していなかったり、生育する水生植物の種類が異なったりしている。昔の川が流れを変えたときに、取り残された水たまりが元になっていたり、湿原の低くなったところに水がたまったりしてできたと考えられる。

②ケルミとシュレンケ

泥炭でできた帯状の凸地をケルミという。ケルミとケルミの間に、帯状にのびる凹地をシュレンケという。ケルミとシュレンケは何列も集まって、縞状の地形をつくっている。

③掘水林

湿原の中に帯状に連なる森林地帯のこと。川の上流から、木を支える土砂と、生育に必要な栄養分が川沿いに運ばれたことで、樹木が生育できるようになった。

④ナガバノモウセンゴケ

食虫植物で、細長い葉の表面にねばねばした液を出す腺毛という毛が密生している。木の葉に虫が止まると、腺毛から出たねばねばの液で身動きがとれなくなり、やがて虫はナガバノモウセンゴケの栄養分になってしまう。

⑤尾瀬のトンボ

尾瀬を代表するトンボは、ハッチョウトンボで、日本で一番小さい。真っ赤なオスはよく目立つ。尾瀬で最初に見つかった青いイトトンボは、オゼイトトンボと名付けられている。尾瀬ヶ原では 31 種類、尾瀬沼では 20 種類が記録されている。

6 木道 12 (km)

湿原を踏みつけると植物が枯れ、泥炭が雨水で流されて、湿原が壊れてしまうから。(トイレ) 湿原の富栄養化を防ぐため、トイレと浄化槽が設置されている。その管理には大きな手間がかかるため、トイレは有料化(100円程度)されている。(ゴミ) 自分で出したゴミは自分で持ち帰る「ゴミ持ち帰り運動」が昭和 47 年から始められた。

☆中学校 ワークシート①『尾瀬について調べよう』

- 1** (山の名前) ^{しぶつさん} 至仏山・^{ひうちがたけ} 燧ヶ岳
(位置) A (3つの県名) 群馬県 福島県 新潟県
- 2** (抛水林) (図の左から) 砂れき層 泥炭層
- 3** 1400 (m) 酸(性) 地塘 **4** B → C → A

5 ①池塘

尾瀬ヶ原にある大小様々な形をした池のこと。数は約 1500 ほど。深さは数 10cm の浅いものから、3m を越えるものまである。大きさは直径 2~3m から、100m ほどの細長いものなどいろいろである。池塘は、その深さによって水生植物が生育していなかったり、生育する水生植物の種類が異なったりしている。昔の川が流れを変えたときに、取り残された水たまりが元になっていたり、湿原の低くなったところに水がたまったりしてできたと考えられる。

②ブルテ

谷地坊主と呼ばれ、湿原の表面から半球状に突出している小さな塚のこと。

③ケルミとシュレンケ

泥炭でできた帯状の凸地をケルミという。ケルミとケルミの間に、帯状にのびる凹地をシュレンケという。ケルミとシュレンケは何列も集まって、縞状の地形をつくっている。

④抛水林

湿原の中に帯状に連なる森林地帯のこと。川の上流から、木を支える土砂と、生育に必要な栄養分が川沿いに運ばれたことで、樹木が生育できるようになった。

⑤高層湿原・中間湿原・低層湿原

湿原が地下水位より低く、いつも水につかっている場合を低層湿原という。湿原が地下水位より高く、水分の供給を雨水に頼る場合を高層湿原という。これらの中間タイプの湿原を中間湿原という。これらの湿原は、環境が異なるため、生育する植物の種類にも大きな違いが見られる。

⑥ナガバノモウセンゴケ

食虫植物で、細長い葉の表面にねばねばした液を出す腺毛という毛が密生している。木の葉に虫が止まると、腺毛から出たねばねばの液で身動きがとれなくなり、やがて虫はナガバノモウセンゴケの栄養分になってしまう。

⑦尾瀬のトンボ

尾瀬を代表するトンボは、ハッチョウトンボで、日本で一番小さい。真っ赤なオスはよく目立つ。尾瀬で最初に見つかった青いイトトンボは、オゼイトンボと名付けられている。尾瀬ヶ原では 31 種類、尾瀬沼では 20 種類が記録されている。

6 特別保護地区 特別天然記念物

- (歩く道) 人の踏みつけによる湿原の破壊を防ぐために、木道が設置されている。
- (トイレ) 湿原の富栄養化を防ぐため、トイレと浄化槽が設置されている。その管理には大きな手間がかかるため、トイレは有料化(100円程度)されている。
- (ゴミ) 自分で出したゴミは自分で持ち帰る「ゴミ持ち帰り運動」が昭和 47 年から始められた。

「尾瀬からはじまるアクション月間」

エコ活動チェックシート

学校用



“『尾瀬学校』の学習で学んだことを学校生活に生かしていこう！”

年 組 番	氏 名
-------	-----

☆毎週末、エコ活動ができたかどうかチェックしましょう。

☆1週間を振り返って、印を付けよう。

毎日できた=◎ ほとんどできた=○ 少しできた=△ ほとんどできなかった=×

☆1ヶ月間、環境に優しい学校生活を送ろう。

◎『尾瀬学校』の学習を生かして、自分にできる環境対策はこれです！

<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <h3>エコチェック</h3> </div>	日	日	日	日
	()	()	()	()
))))
	日	日	日	日
	()	()	()	()
1	使用していない教室や廊下の電気を消します			
2	水を出しっぱなしにしません			
3	紙などをムダにせず、ゴミを減らします			
4	給食は好き嫌いせず、残さず食べます			
5	暑さ・寒さで、衣服の調節をします			
6	文房具やノートを大切に使います			

◎『尾瀬学校』の学習を生かして、工夫したことや努力した取組

◎感想



「尾瀬からはじまるアクション週間」 CO₂ 削減チェックシート

家庭用

☆ 1週間で減らすCO₂の目標を立てましょう。(家族にも協力してもらおう！)

すべてできると1日で500g (1週間では3500g) です。

☆できた日には○をつけましょう。

☆1週間後に、CO₂がどのくらい減らせたか計算してみましょう。

年	組	番
---	---	---

氏名	
----	--

目標	g
----	---

◎尾瀬の学習を生かして、自分にできる家庭での環境対策はこれです！

エコチェック		1日で減らせるCO ₂	() 日	() 日	() 日	() 日	() 日	() 日	() 日	合計 (g)
1	テレビ・ゲームの時間を減らします	40g								
2	誰もいない部屋の電気を消します	40g								
3	電源は主電源・コンセントから抜きます	65g								
4	歯みがきの時、水を止めます	42g								
5	シャワーをこまめに止めます(1分短縮)	74g								
6	買い物は、マイバッグを持っていきます	15g								
7	お風呂に続けてすぐに入ります	86g								
8	リサイクルできる物は分けて捨てます	52g								
9	冷蔵庫はムダに開けず、すぐに閉めます	5g								
10	家でみんなで過ごす時間を長くもちます	81g								



合計	g
----	---

◎尾瀬での学習を生かして工夫したことや努力した取組

◎感想

IV 『尾瀬学校』実施校への調査結果

*調査項目・結果一覧

○『尾瀬学校』実施校に対する調査項目と結果一覧です。実施校の現状・課題及び要望を知り、『尾瀬学校』の学習を進めるときの参考資料として活用していきましょう。

I 調査の概要

1 調査の内容

初年度（平成20年度）及び今年度（平成21年度）、『尾瀬学校』実施校に対して実態調査を行い、その現状・課題及び要望を明らかにする。

2 調査の対象

* 初年度（108校）と今年度新規（37校）での『尾瀬学校』実施校（計146校）の環境教育主任及び尾瀬学校主担当者（各1名）

* 協力校の1年生（今年度尾瀬学校実施）
2年生（初年度尾瀬学校実施）

3 調査の方法

質問紙調査を実施する。（電子メールでのアンケートにより調査の回答を行う）

【協力校の生徒については、直接、質問紙調査を実施】

4 調査実施期間

平成21年8月上旬～平成21年8月31日（月）

【協力校の生徒については、7月27日（月）】

5 回答校数

・ 小学校： 78校中 66校 （回収率84.6%）

・ 中学校： 68校中 57校 （同 83.8%）

【全体：146校中 123校 （同 84.2%）】

II 調査結果

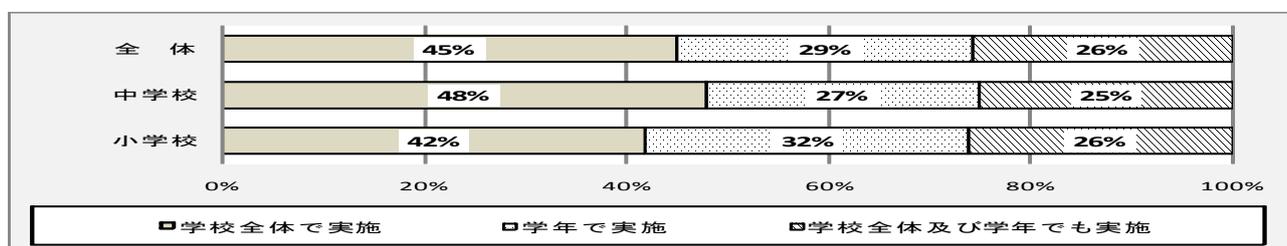
《質問の対象：環境教育担当者（またはこれに準ずる方）》

設問1 貴校の環境教育の実施状況についてお答えください。なお、学年単位で実施している学校については（ ）内に学年数字をすべて記入してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①学校全体で実施	28	27	55
②学年で実施	21	15	36
③学校全体で実施、及び学年でも実施	17	14	31

(単位：校数)	小3	小4	小5	小6	小5/6	小4/5/6
②学年で実施	1	2	9	5	2	2
	中1	中2	中3	中1/2	中1/3	中2/3
	9	3	2	1	0	0

(単位：校数)	小1	小2	小3	小4	小5	小6
③学校全体で実施 及び 学年でも実施	1	1	2	4	5	4
	中1	中2	中3	中1/2	中1/3	中2/3
	6	6	2	0	0	0

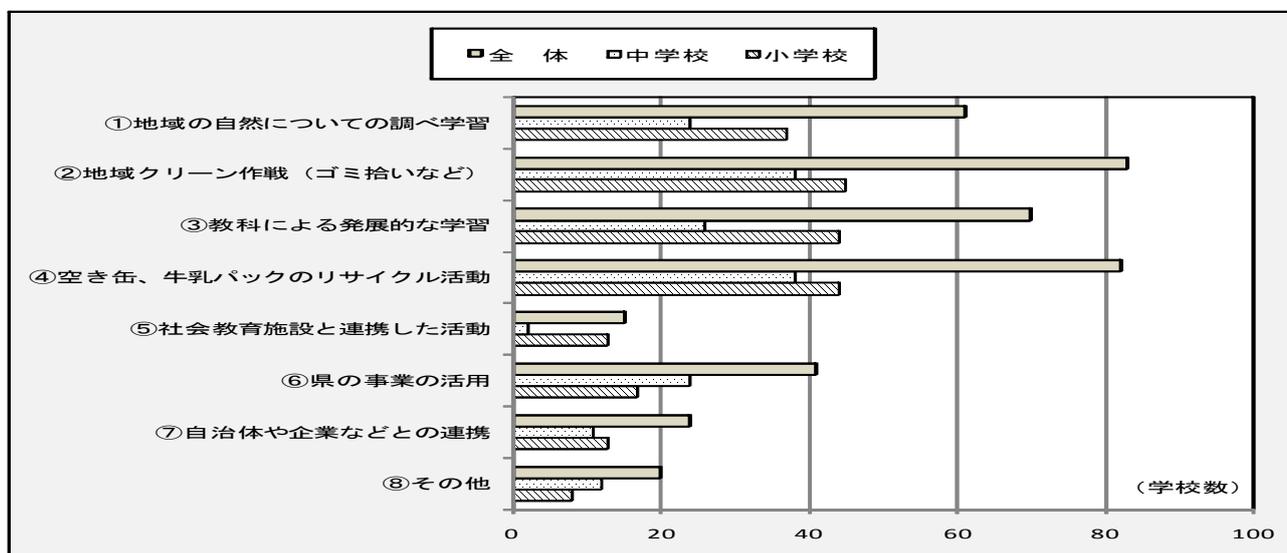


設問2 環境教育で取り組んでいる学習内容をすべて回答欄に記入してください。（複数回答可、尾瀬学校関連は含みません）

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①地域の自然環境（川、森林など）についての調べ学習	37	24	61
②地域クリーン作戦（ゴミ拾いなど）	45	38	83
③教科による発展的な学習（理科、社会科など）	44	26	70
④空き缶、牛乳パックのリサイクル活動	44	38	82
⑤社会教育施設（自然史博物館など）と連携した活動	13	2	15
⑥県の取組（移動尾瀬自然教室、エコムーブ号など）の活用	17	24	41
⑦自治体（市町村）や企業などと連携した活動	13	11	24
⑧その他	8	12	20

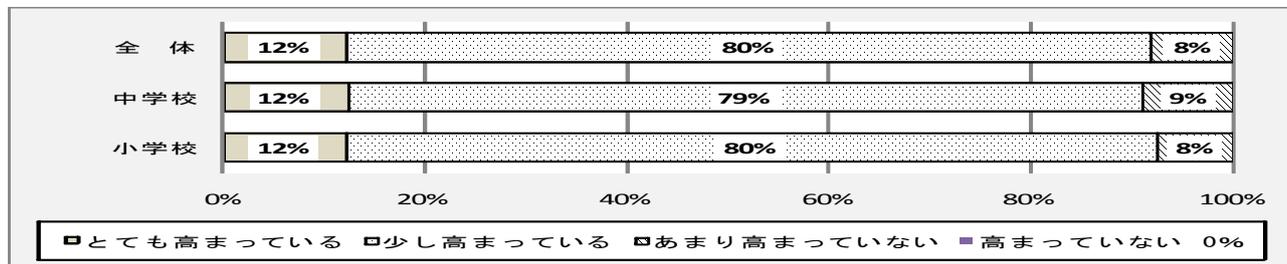
⑧その他の内容

【PTAとの連携活動（廃品回収、清掃作業）、花いっぱい運動、グリーンカーテン栽培、エコキャップ収集など】



設問3 設問2のような体験活動（学習）を通して、貴校の子どもたちの環境への意識は高まっていますか。

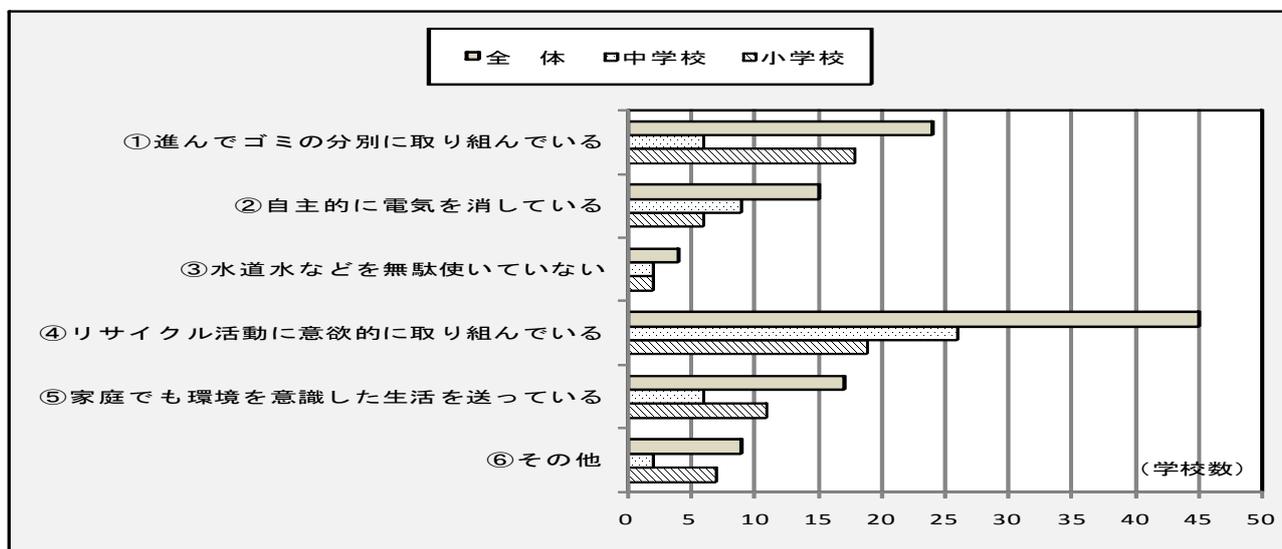
(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①とても高まっている	8	7	15
②少し高まっている	53	44	97
③あまり高まっていない	5	5	10
④高まっていない	0	0	0



設問3-1 子どもたちのどのような行動から、環境への意識の高まりを感じますか。一つ選択してください。

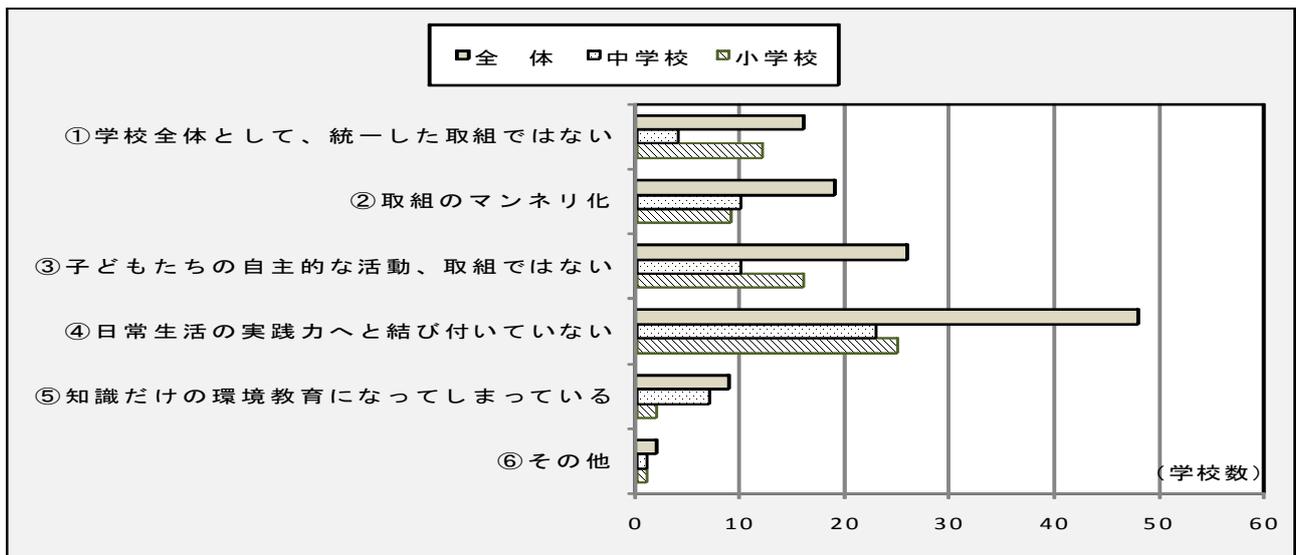
(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①子どもたちが進んでゴミの分別に取り組むようになった	18	6	24
②子どもたちが節電の意識から、自主的に電気を消すようになった	6	9	15
③子どもたちが節水の意識から、水道水などを無駄使いしないようになった	2	2	4
④子どもたちが今まで以上に、リサイクル活動に意欲的に取り組むようになった	19	26	45
⑤子どもたちが家庭でも、環境問題を意識した生活を送るようになった（学校生活の様子から）	11	6	17
⑥その他	7	2	9

⑥その他の内容 【動植物保護、物や資源を大切にする、環境への問題意識をもったなど】



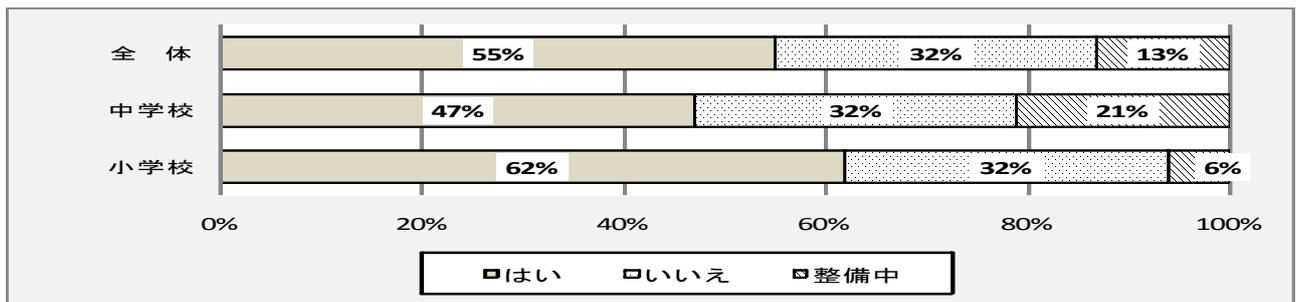
設問4 環境教育に取り組んできたなかで、貴校の最大の課題は何ですか。一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①学校全体としての、統一した取組ができていない	12	4	16
②取組がマンネリ化している	9	10	19
③子どもたちの自主的な活動、取組ではない	16	10	26
④日常生活の実践力へと結び付いていない	25	23	48
⑤知識だけの環境教育になってしまっている	2	7	9
⑥その他（ ）	1	1	2



設問5 貴校に「環境教育の全体計画」はありますか。

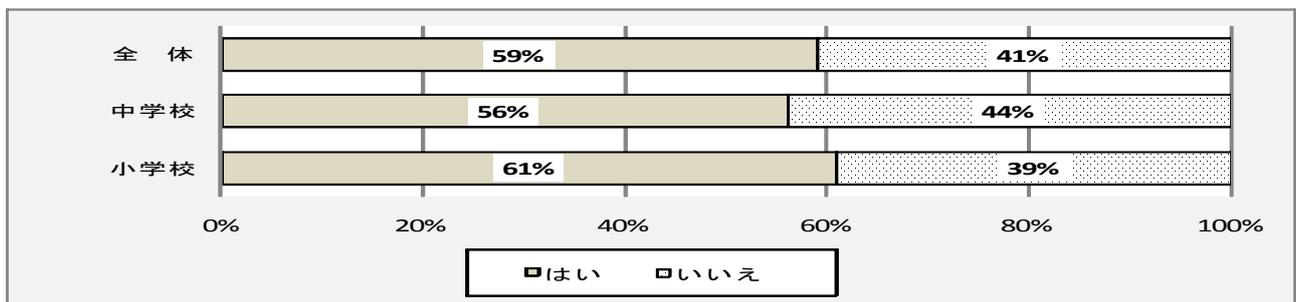
(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①はい	41	27	68
②いいえ	21	18	40
③整備中	4	12	16



設問5-1 全体計画の中に、『尾瀬学校』は位置付けられていますか。

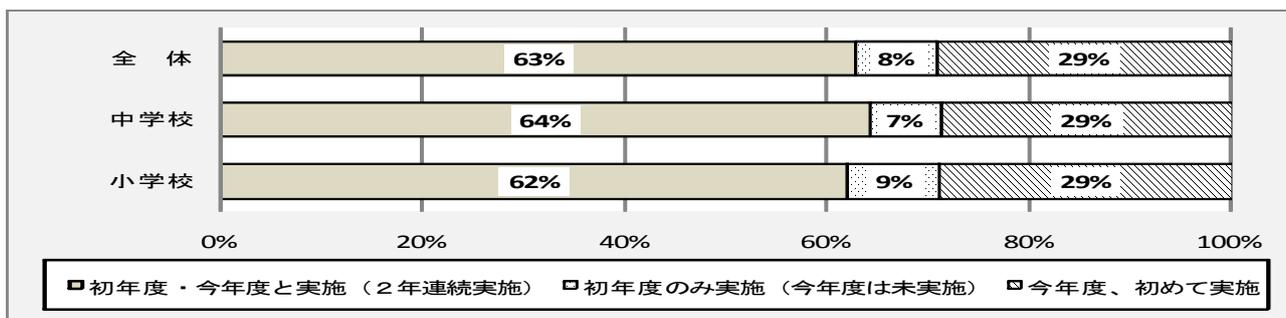
(*設問5で「①はい」と答えた学校のみ回答)

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①はい	25	15	40
②いいえ	16	12	28



設問6 『尾瀬学校』について、実施状況をお答えください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①初年度・今年度と実施(2年連続実施)	41	37	78
②初年度のみ実施(今年度は未実施)	6	4	10
③今年度初めて実施	19	16	35

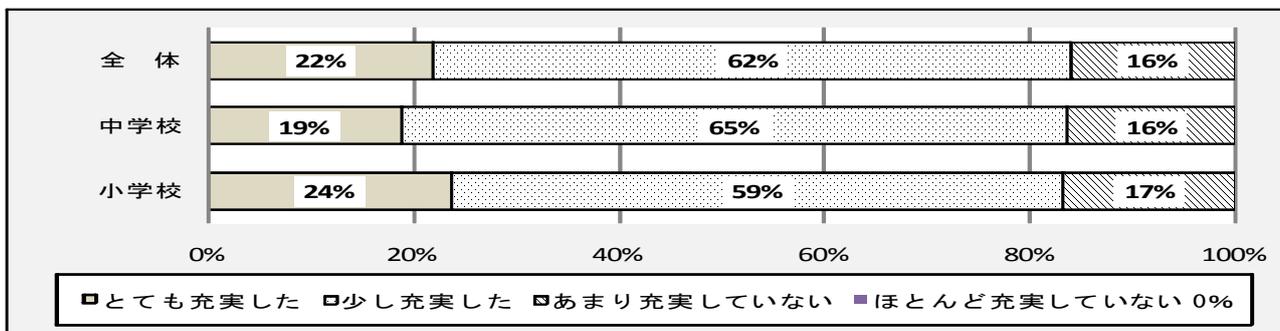


*それぞれの実施や未実施の理由についてお答えください。

①初年度・今年度と実施（2年連続実施）	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある尾瀬国立公園の自然環境を調べ、自然の大切さを考えることができる 費用の負担無く、子どもたちが尾瀬を体験できる素晴らしい企画である 県の推進で、尾瀬の自然に触れる体験を積むことで、環境教育の充実が図れる 環境と人間とのかかわりについて考える一歩となる 環境教育を実施する場として、最も適している 自然保護の意識と郷土を愛する心をはぐくみたいと考えた
②初年度のみ実施	<ul style="list-style-type: none"> 複式学級のため、隔年で実施 実施学年の変更、実施校種（小学校から中学校へ）変更 総合的な学習の時間の時数削減
③今年度初めて実施	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境教育として、尾瀬は大切だと認識したから 実施の機運と環境が整ったから 昨年度は様子がつかめなかったから 県の事業として、環境教育の充実が図れると判断したから

設問6-1 2年続けて実施することで、貴校の環境教育はどの程度充実しましたか。
（*設問6で、「①2年連続実施」と答えた学校のみ回答）

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①とても充実した	10	7	17
②少し充実した	25	24	49
③あまり充実していない	6	6	12
④ほとんど充実していない	0	0	0

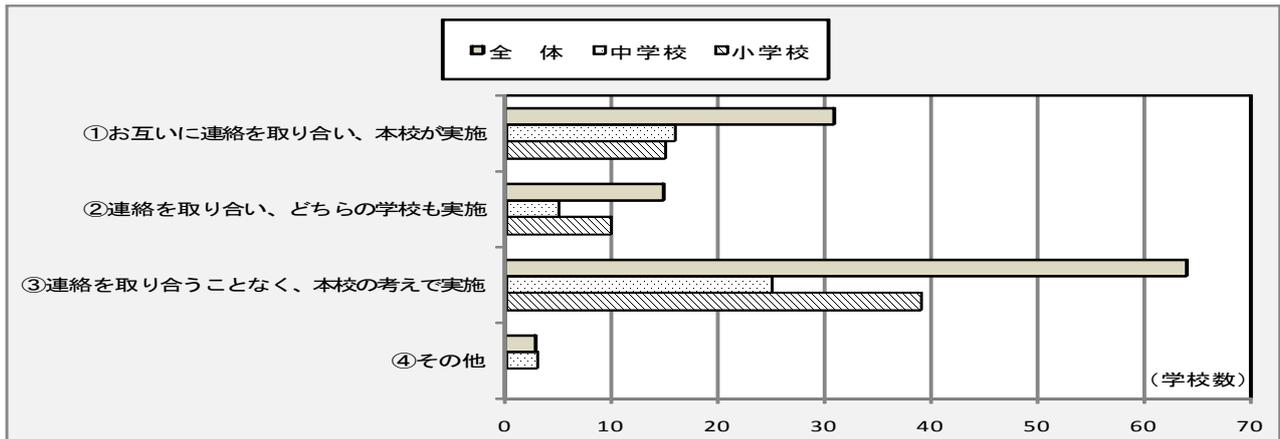


設問6-2 充実した点や充実していない点（課題）をお書きください。

○充実した点	<ul style="list-style-type: none"> 自然破壊と自然保護の関係が理解できた 自然環境への関心が高まった 人間の行動が環境に大きく影響を与えている ガイドの説明で、尾瀬への理解が深まった 子どもたちがリサイクル活動に意欲的になった
●充実していない点（課題）	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活、実践力へと結び付かない 地域の自然との関連を図ることが難しい 環境教育との関連を図ることが難しい 学習過程の位置付けの弱さ、学習計画の不備 環境にかかわる課題の設定が難しい

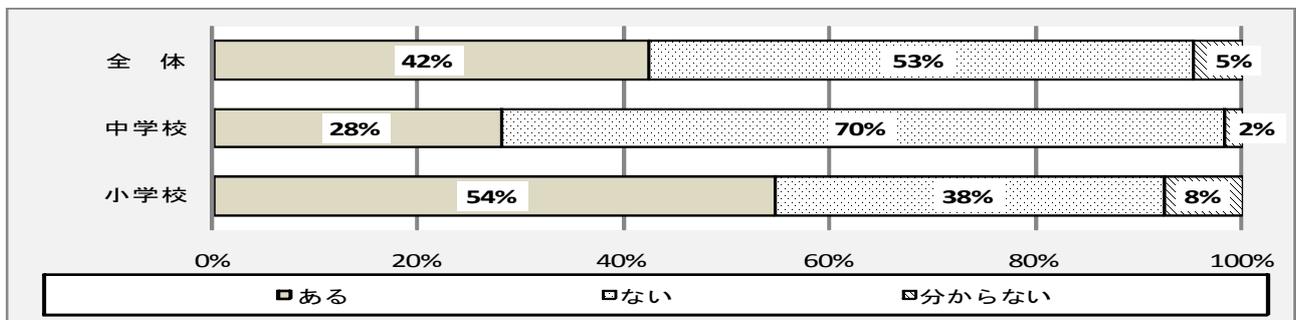
設問7 貴校が『尾瀬学校』を実施しようとした際、貴校のある小学校区もしくは中学校区が『尾瀬学校』を実施するかどうか、考慮しましたか。(一つ選択)

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①お互いに連絡を取り合い、本校が実施することとした	15	16	31
②お互いに連絡を取り合い、本校だけでなく、どちらの学校も実施することとした	10	5	15
③連絡を取り合うことなく、本校の考えで実施することとした(考慮しなかった)	39	25	64
④その他()	0	3	3
④その他【市、町の方針で実施】			



設問8 貴校のある小学校区もしくは中学校区で、『尾瀬学校』を実施している学校はありますか。

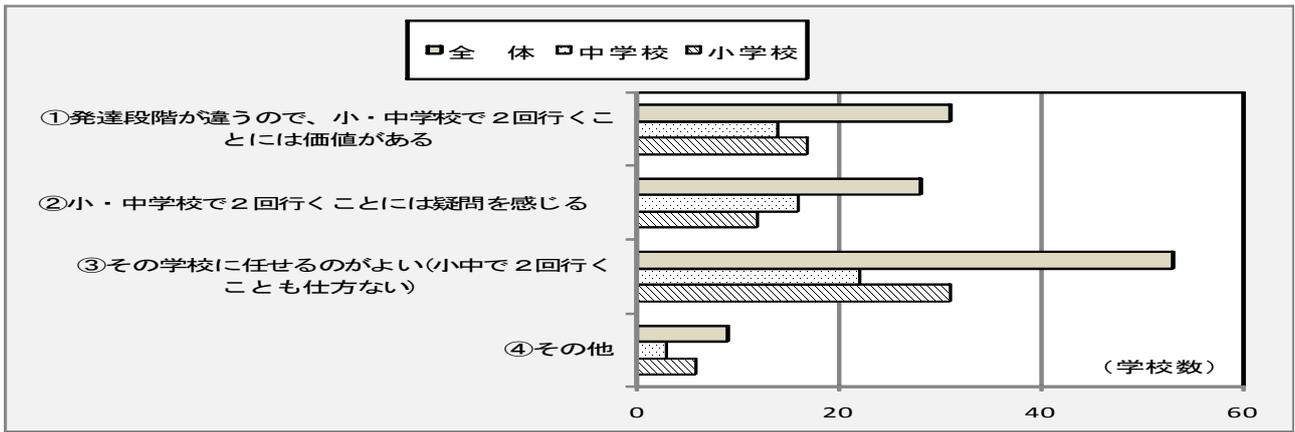
(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①あ る	36	16	52
②な い	25	40	65
③分からない	5	1	6



設問9 同じ小学校区もしくは中学校区内の学校が『尾瀬学校』を実施することについて、どう思いますか。(一つ選択)

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①小学校、中学校で発達段階が違うので、小・中学校で2回行くことには価値がある	17	14	31
②尾瀬の新鮮味が薄れてしまうため、小・中学校で2回行くことには疑問を感じる	12	16	28
③学校ごとの実情があるので、その学校に任せるのがよい(小中で2回行くことも仕方ない)	31	22	53
④その他()	6	3	9

④その他の内容【小・中で1回は実施できるように連携する・2回行くことにも価値はあるが、たくさの人が尾瀬を訪れることは自然保護の観点でどうか・宿泊で実施など】

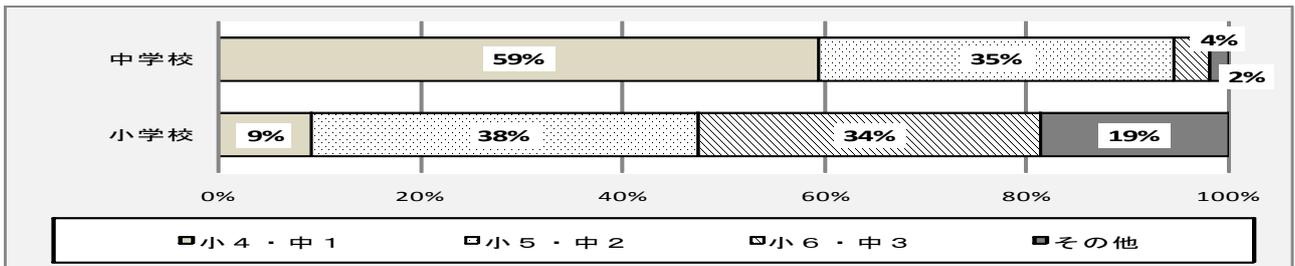


《質問の対象：『尾瀬学校』の主担当者》

設問1 『尾瀬学校』の実施学年、クラス数、児童生徒数をお答えください。
(クラス数、児童生徒数は省略)

(単位：校数)	①小4	②小5	③小6	④中1	⑤中2	⑥中3	⑦その他
小学校	6	25	22				12
中学校				34	20	2	1

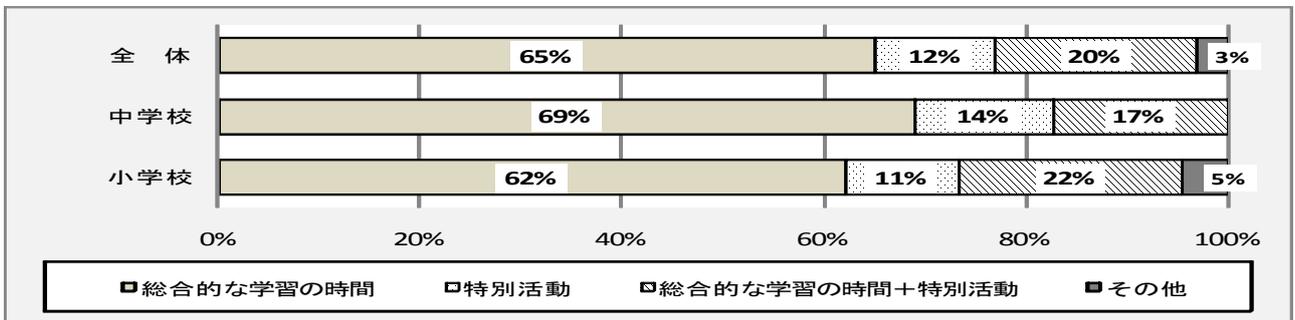
⑦その他の学年【小4・5=2、小5・6=9、小4・6=1 中2・3=1】



設問2 『尾瀬学校』の教育課程の位置付けについてお答えください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①総合的な学習の時間	28	20	48
②特別活動	5	4	9
③総合的な学習の時間+特別活動	10	5	15
④その他	2	0	2

④その他の位置づけ【理科】



●『尾瀬学校』の事前学習についてお答えください。なお、事前学習とは、学校内での学習内容とします。

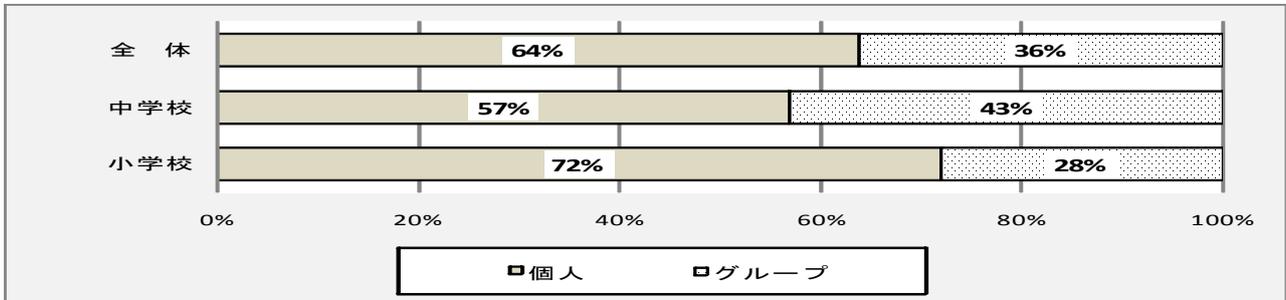
設問3. 事前学習には何時間要しましたか。

(単位：時間)	最多時数	最少時数	平均時数
小学校	2.4	1	6.5
中学校	1.6	2	7.2

○『尾瀬学校』を実施するに当たり、子どもたちの課題設定方法についてお答えください。
 (問2.において、②特別活動(学校行事)で実施していると答えた学校で、子どもたちに課題を設定させていない場合は、問5.へ進んでください)

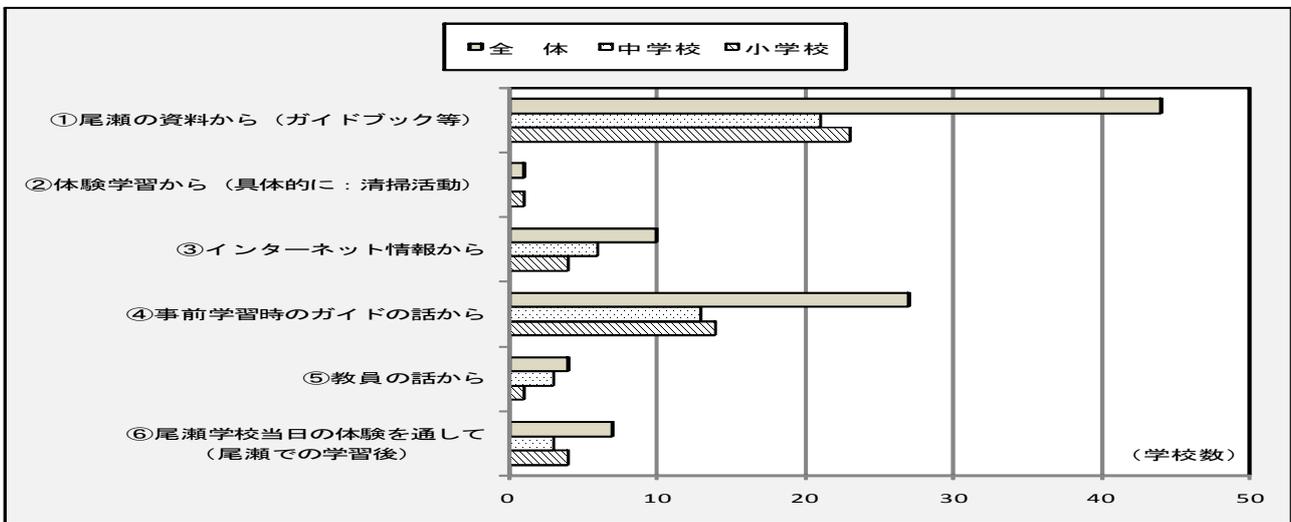
設問4. 課題(テーマ)設定の単位は次のどちらですか。 ①個人 ②グループ

(単位:校数)	個人	グループ
小学校	33	13
中学校	26	20



設問4-1 課題(テーマ)設定をする際、子どもたちが最も設定のヒントを得られたと思われる学習は次の①~⑦のうちどれですか。一つ選択してください。

(単位:校数)	小学校	中学校	全体
①尾瀬の資料から(ガイドブックなど)	23	21	44
②体験学習から(具体的に:清掃活動)	1	0	1
③インターネット情報から	4	6	10
④事前学習時のガイドの話から	14	13	27
⑤教員の話から	1	3	4
⑥尾瀬学校当日の体験を通して(尾瀬での学習後)	4	3	7
⑦その他()	0	0	0

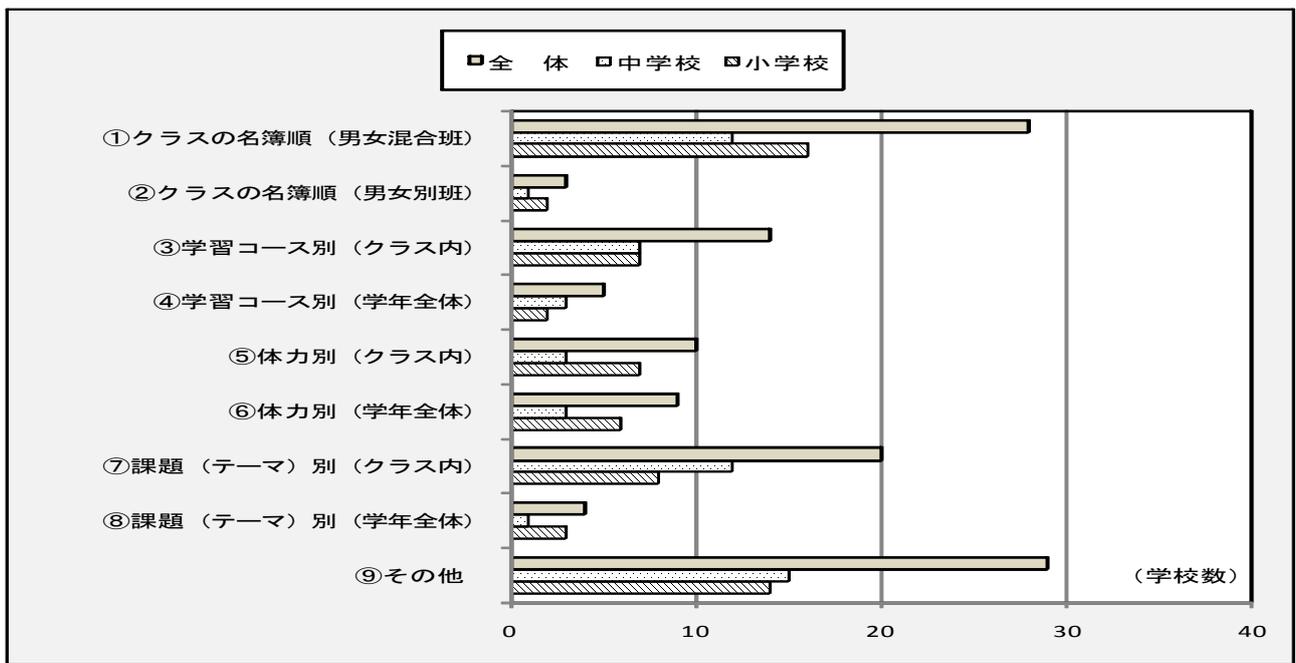


設問5 子どもたちのグループ(基本的には8人)はどのように決めましたか。一つ選択してください(単学級の学校においてはクラス内としてお答えください)

(単位:校数)	小学校	中学校	全体
①クラスの名簿順(男女混合班)	16	12	28
②クラスの名簿順(男女別班)	2	1	3
③学習コース別(クラス内)	7	7	14
④学習コース別(学年全体)	2	3	5
⑤体力別(クラス内)	7	3	10
⑥体力別(学年全体)	6	3	9
⑦課題(テーマ)別(クラス内)	8	12	20
⑧課題(テーマ)別(学年全体)	3	1	4
⑨その他()	14	15	29

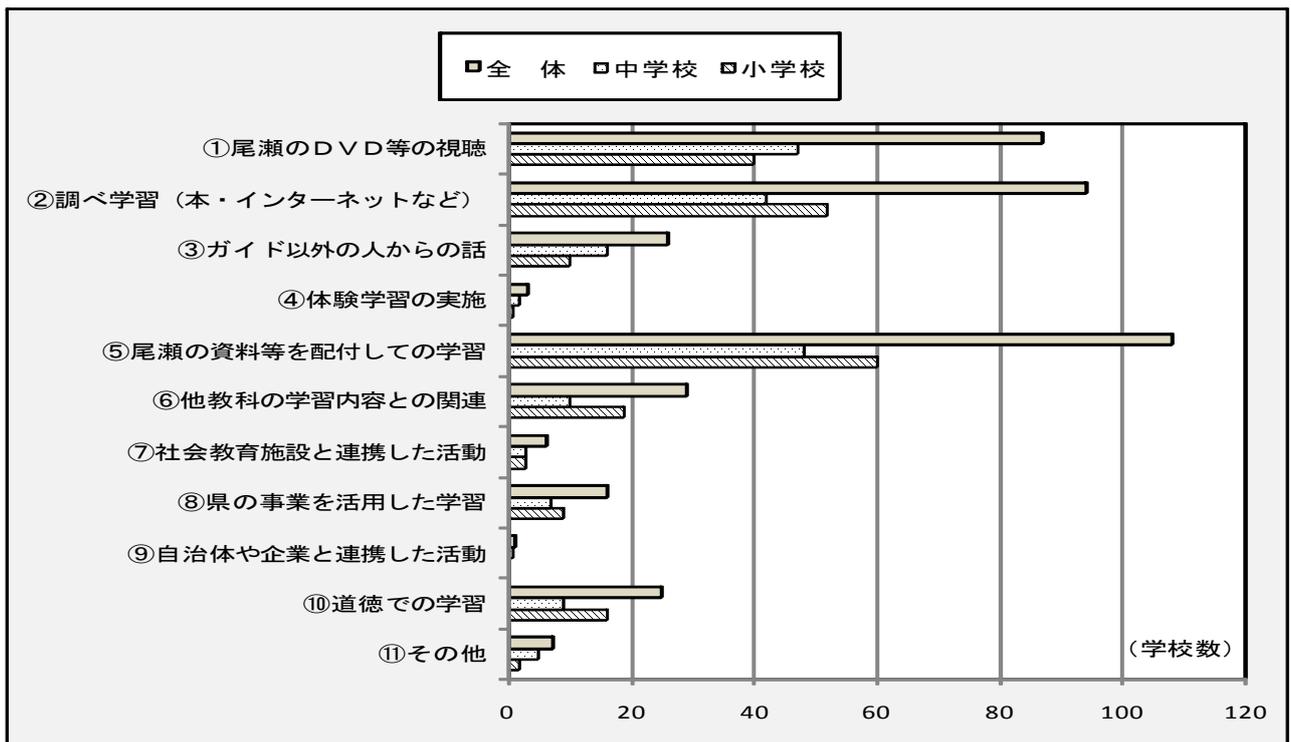
⑨その他【小:話し合い、生活班、人間関係考慮、くじ引き】

【中:話し合い、リーダー配分、人間関係考慮、生活班、くじ引き、希望】



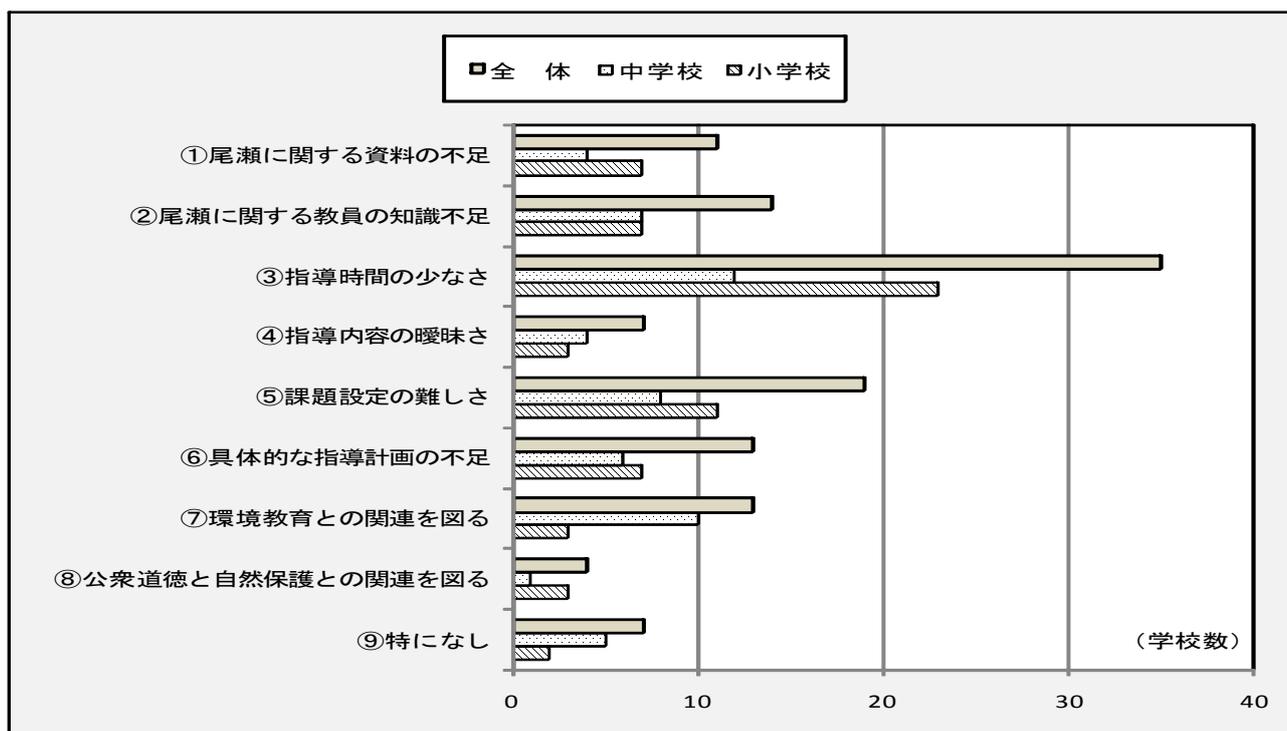
設問 6 事前学習で取り組んだ学習内容についてお答えください。(複数回答可)
 (ガイドによる事前学習は、すべての実施校で行うことになっているため、この設問の選択肢には入っていません。それ以外の取組についてお答えください)

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
① 尾瀬のDVDなどの視聴	40	47	87
② 調べ学習 (本・インターネットなど)	52	42	94
③ ガイド以外の人からの話 (教員、地域の方など)	10	16	26
④ 体験学習の実施 (具体的に：清掃活動など)	1	2	3
⑤ 尾瀬の資料などを配付しての学習	60	48	108
⑥ 他教科 (理科・社会など) の学習内容との関連	19	10	29
⑦ 社会教育施設 (自然史博物館など) と連携した活動	3	3	6
⑧ 県の取組 (移動尾瀬自然教室など) を活用した学習	9	7	16
⑨ 自治体 (市町村) や企業と連携した活動	0	0	0
⑩ 道徳での学習	16	9	25
⑪ その他 ()	2	5	7
⑪ その他 【ルール・マナー学習など】			



設問7 事前学習を進める上での最大の課題は何ですか。一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①尾瀬に関する資料の不足	7	4	11
②尾瀬に関する教員の知識不足	7	7	14
③指導時間の少なさ	23	12	35
④指導内容の曖昧さ	3	4	7
⑤課題設定の難しさ	11	8	19
⑥具体的な指導計画の不足	7	6	13
⑦環境教育との関連を図ること	3	10	13
⑧公衆道徳と自然保護との関連を図ること	3	1	4
⑨特になし	2	5	7
⑩その他 ()	0	0	0



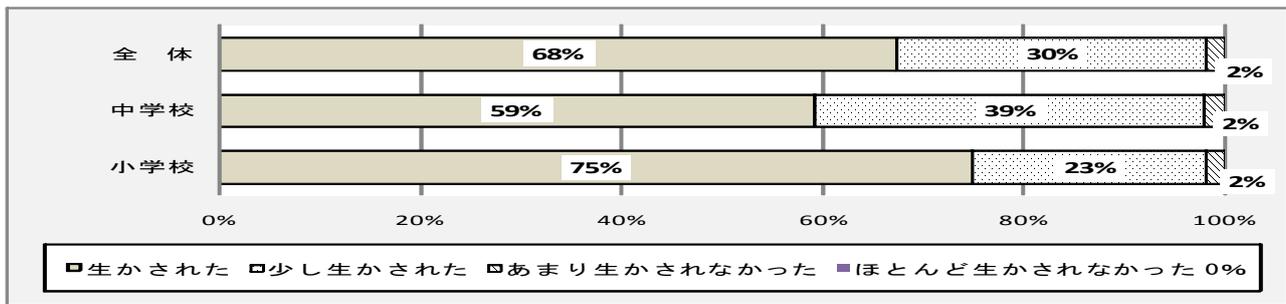
設問8 事前学習の充実を図るためには何が必要だと思いますか。環境教育の視点で具体的にお書きください。

- ・資料の充実を図る（尾瀬に関する資料、学習に役立つワークシートの作成など）
- ・指導計画、全体計画の確立、指導時間の確保
- ・尾瀬の貴重性の認識（尾瀬の環境保護対策、成り立ち、歴史、現状把握、公衆道徳等の学習）
- ・日常生活との関連、環境教育との結び付き、地域の環境との関連を図る
- ・学習課題(ねらい)をもたせる指導内容の工夫
- ・教員の研修
- ・ガイドとの事前学習の充実（実物・資料の提示、尾瀬の映像、環境問題の話・現状、体験談など）
- ・尾瀬当日担当ガイドとの連携・打ち合わせ
- ・他教科とのかかわりを図る
- ・人材発掘（尾瀬に詳しい人から話を聞く）

●尾瀬学校当日の学習についてお答えください。

設問9 当日は、事前学習で取り組んだ学習内容が活かされたと思いますか。

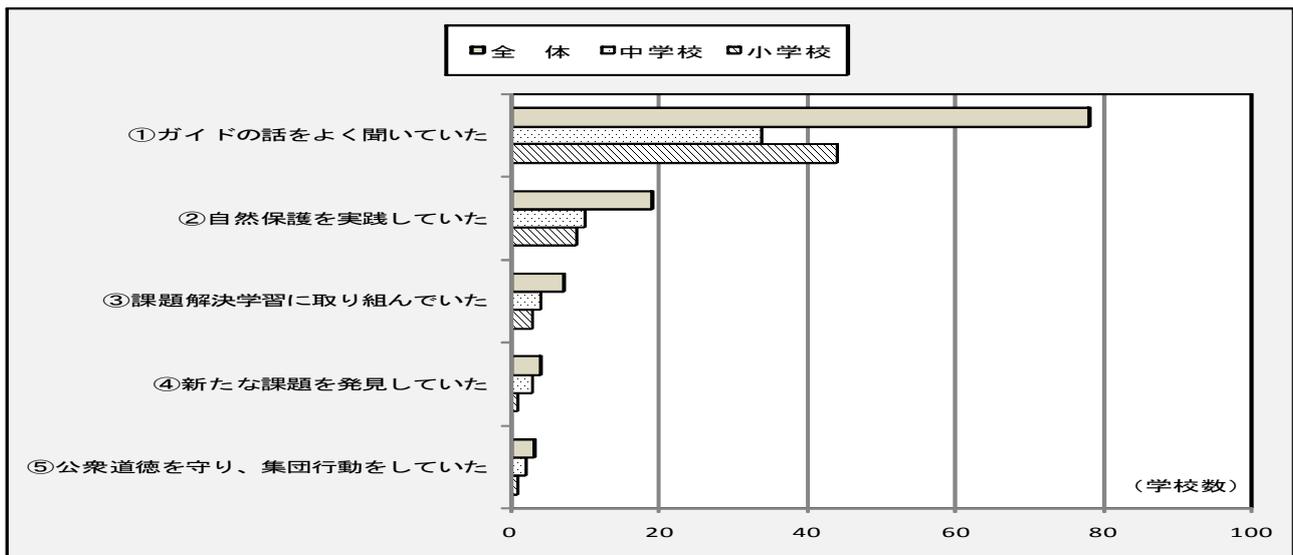
(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①活かされた	45	32	77
②少し活かされた	14	21	35
③あまり活かされなかった	1	1	2
④ほとんど活かされなかった	0	0	0



* ①生かされた、②少し生かされた、と答えた学校のみお答えください。

設問 9-1 それはどのような場面ですか。最も生かされたと感じる場面を一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①子どもたちが、自然に関心をもち、ガイドの話をよく聞いていた	44	34	78
②子どもたちが、尾瀬のルールを守り、自然保護を实践していた	9	10	19
③子どもたちが、各課題(テーマ)の解決に向けて、学習に取り組んでいた	3	4	7
④子どもたちが、尾瀬の自然に触れ、新たな環境に対する課題を発見していた	1	3	4
⑤子どもたちが、公衆道徳を守りながら、集団活動を行っていた	1	2	3
⑥その他()	0	0	0



* ③あまり生かされなかった、④ほとんど生かされなかった、と答えた学校のみお答えください。

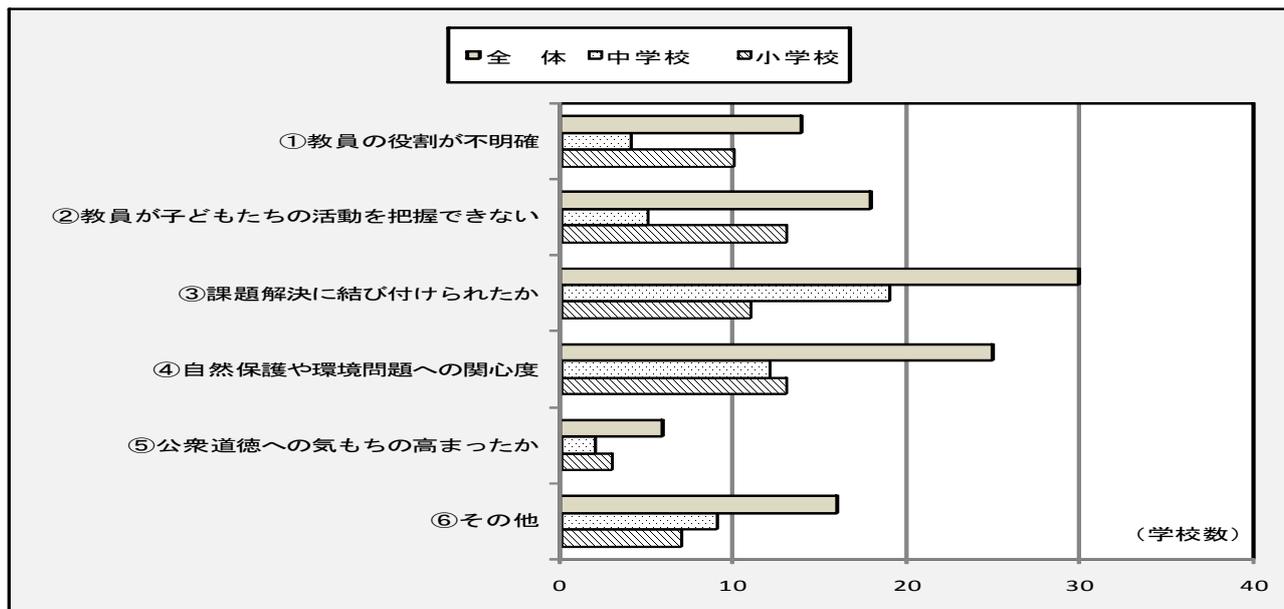
設問 9-2 それはなぜだと思いますか。最大の理由だと思うものを一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校
①事前学習において、課題設定のための学習が不十分だったから		
②事前学習において、尾瀬の自然・環境についての学習が不十分だったから		
③事前学習において、尾瀬について(ルールなど)の学習が不十分だったから		
④事前学習において、公衆道徳の指導が不十分だったから		1
⑤事後学習までを見通した学習計画のないままに、事前学習を進めてしまったから		
⑥当日の学校のねらいが、ガイドに十分伝わらなかったから	1	
⑦その他()		

設問10 当日の学習で、最大の課題は何ですか。一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①子どもたちに対しての教員の役割が不明確	10	4	14
②教員が子どもたちの活動を把握できない	13	5	18
③子どもたちの課題解決に結び付けられたかどうか不明	11	19	30
④子どもたちが自然保護や環境問題への関心をもてたかどうか不明	13	12	25
⑤子どもたちが尾瀬のルールを守り、公衆道徳の気もちが高まったかどうか不明	3	2	6
⑥その他	7	9	16

⑥その他【小：ゆとりがない、活動時間が短い、ガイドとの連携（指導と課題とのずれ）、説明が後方の生徒に聞こえない、問題なし】
【中：雨天時の対応、大規模校は全体指導が困難、活動時間が短い、問題なし】



設問11 尾瀬学校当日の学習の充実を図るためには何が必要だと思いますか。環境教育の視点で具体的にお書きください。

- ・事前学習の充実（目的意識を持つ、課題設定）
- ・ガイドとの連携（事前に要望や子どもの課題を伝える、課題のパターン化を図る、環境教育・環境問題にかかわる話をしてもらう）
- ・当日の学習内容をまとめる記録用シート、ワークシートの作成
- ・当日の流れの確認（開校式～閉校式、時間設定、十分な時間の確保）
- ・雨天時の対応
- ・尾瀬でボランティア活動、環境保護活動を実施する
- ・ビジターセンターの活用を図る

●『尾瀬学校』の事後学習についてお答えください。

設問12 事後学習には何時間要しましたか。

(単位：時間)	最多時数	最少時数	平均時数
小学校	26	1	5.0
中学校	20	1	4.4

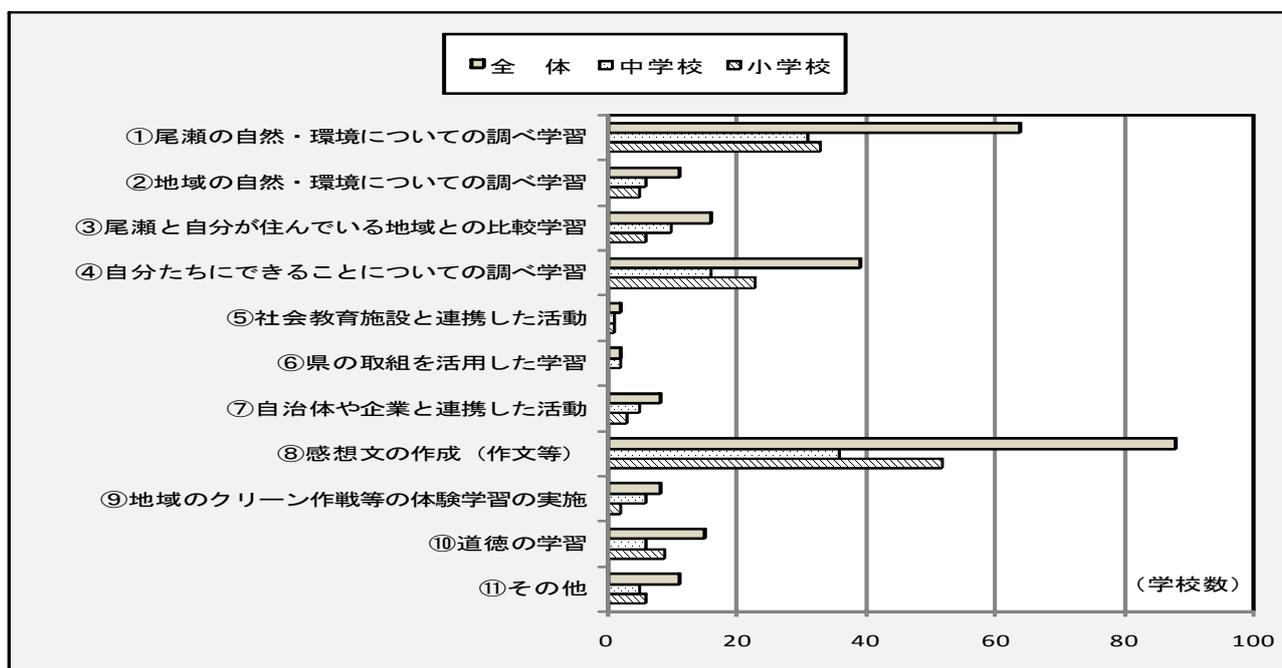
設問13 事後学習で取り組んだ学習内容についてお答えください。（複数回答可）

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①尾瀬の自然・環境についての調べ学習	29	27	56
②地域の自然・環境についての調べ学習	3	5	8
③尾瀬と自分が住んでいる地域との比較学習	6	10	16
④自分たちにできることについての調べ学習	23	16	39
⑤社会教育施設と連携した活動	0	1	1
⑥県の取組を活用した学習	0	2	2
⑦自治体や企業と連携した活動	0	0	0

⑧感想文の作成（作文など）	52	36	88
⑨地域のクリーン作戦等の体験学習の実施	2	6	8
⑩道徳の学習	9	6	15
⑪その他	11	10	21

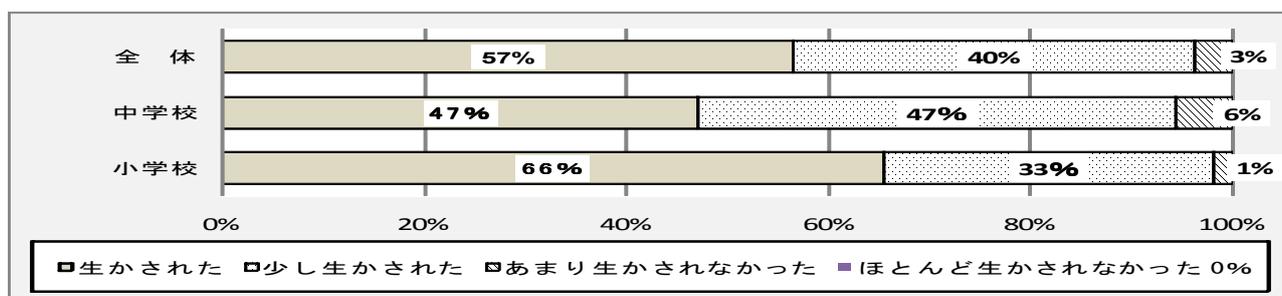
⑪その他【小：俳句作り、壁新聞作成、ガイドブック作り、全校への紹介】

【中：ゴミマップ作り、新聞作成、報告書、ポスター制作、標語、俳句作り】



設問 1 4 尾瀬学校当日の学習が、事後学習へと生かされたと思いますか。

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①生かされた	38	26	64
②少し生かされた	19	26	45
③あまり生かされなかった	1	3	4
④ほとんど生かされなかった	0	0	0

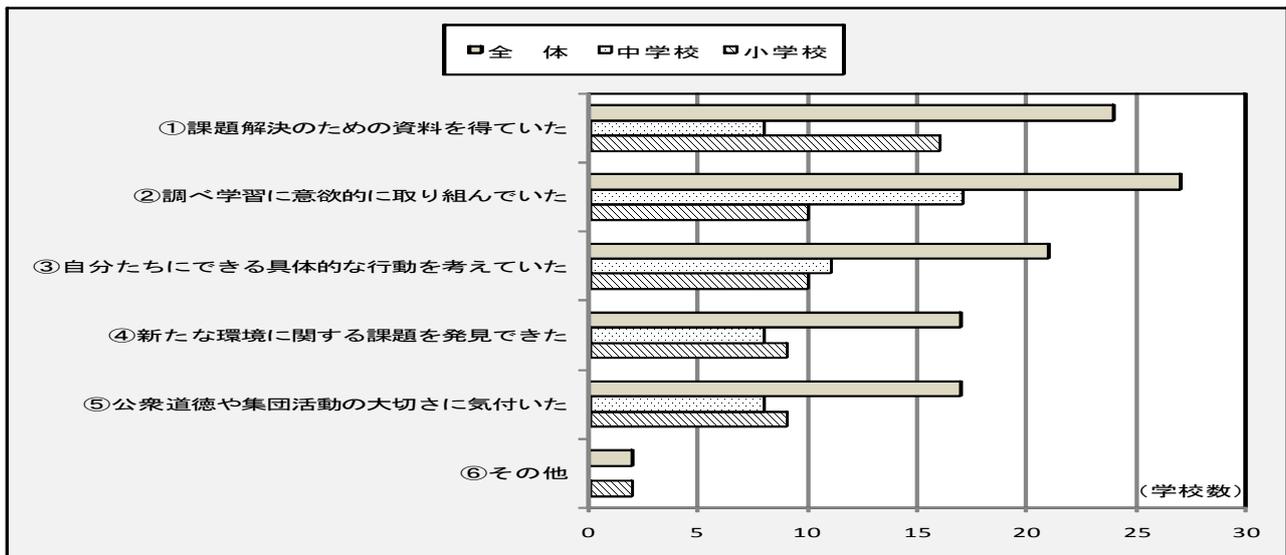


* ①生かされた、②少し生かされた、と答えた学校のみお答えください。

設問 1 4 - 1 それはどのような場面ですか。最も生かされたと感じる場面を一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①子どもたちが尾瀬に行ったことで、課題解決のための資料を得ていた	16	8	24
②子どもたちの環境への関心が高まり、調べ学習に意欲的に取り組んでいた	10	17	27
③子どもたちが尾瀬の環境保全を参考に自分たちができる具体的な行動を考えていた	10	11	21
④子どもたちが尾瀬に行き、新たな課題（自然・環境問題）を発見できた	9	8	17
⑤子どもたちが尾瀬のルールを守ることで、公衆道徳や集団活動の大切さに気付いた	9	8	17
⑥その他（ ）	2	0	2

⑥その他【意欲的にまとめていた、感想文の中の考えや意見】



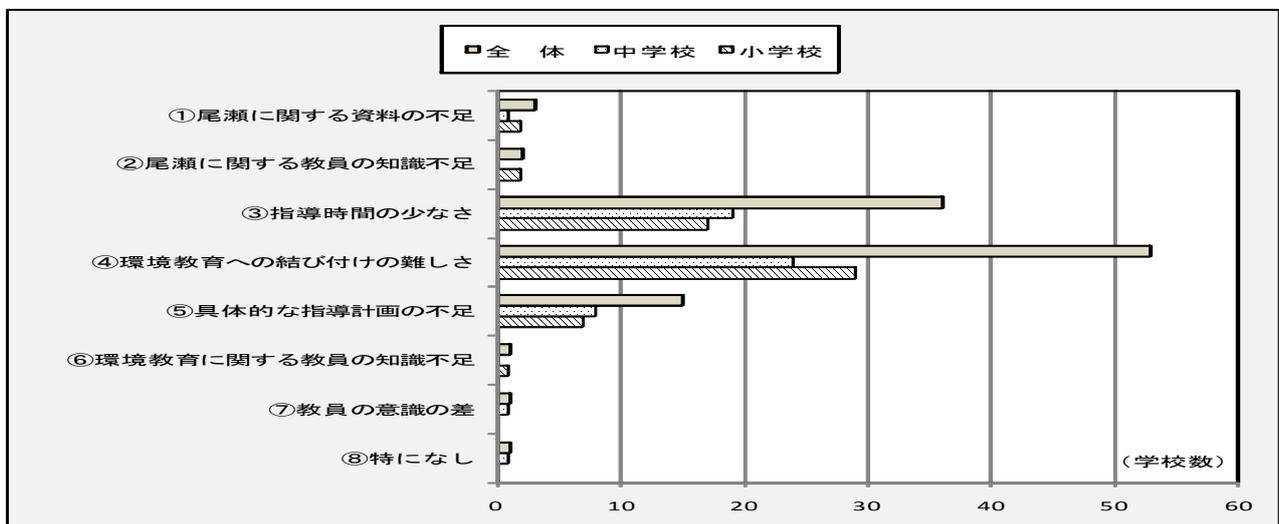
* ③あまり生かされなかった、④ほとんど生かされなかった、と答えた学校のみお答えください。

設問 1 4 - 2 それはなぜだと思いますか。最大の理由だと思えるものを一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校
①課題設定が不十分だったため、単に尾瀬へ行っただけとなってしまったから		2
②課題設定が不十分だったため、課題解決のための十分な資料を得られなかったから	1	1
③尾瀬についての学習が不十分だったため、環境保全意識をもたせられなかったから		
④尾瀬に行き、新たな課題（自然・環境問題）を発見できていなかったから		
⑤班活動の指導が不足していたため、協力しての活動が見られなかったから		

設問 1 5 事後学習を進める上で、最大の課題は何ですか。(一つ選択)

(単位：校数)	小学校	中学校	全体
①尾瀬に関する資料不足	2	0	2
②尾瀬に関する教員の知識不足	2	0	2
③指導時間の少なさ	17	19	36
④環境教育（実践力）への結び付けの難しさ	29	24	53
⑤具体的な指導計画の不足	7	8	15
⑥環境教育に関する教員の知識不足	1	0	1
⑦教員の意識の差	0	1	1
⑧その他 ()	0	2	2
⑧その他【環境教育に関する資料不足、問題なし】			



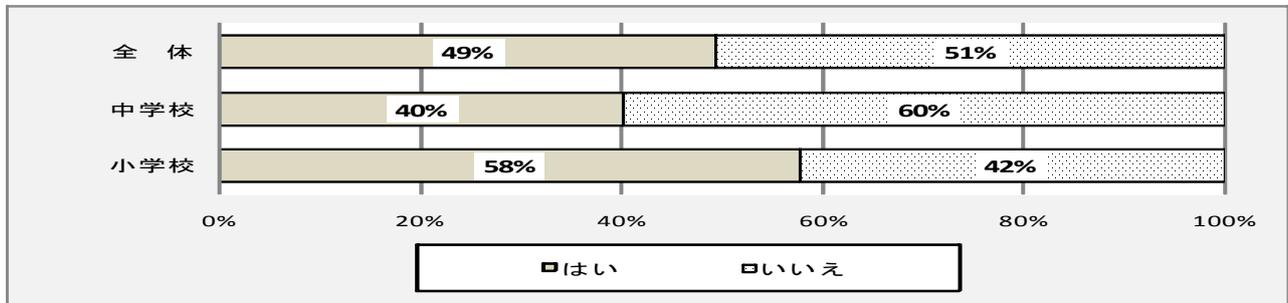
設問 1 6 事後学習の充実を図るためには何が必要だと思いますか。環境教育の視点で具体的にお書きください。

- ・実生活、実践力につながる手だて（学習内容）の充実を図る
- ・学習内容の充実を図る
- ・指導計画の確立、指導時間の確保
- ・調べ学習のための資料の充実を図る
- ・関連（外部）機関との連携を図る
- ・ボランティア活動を実施する
- ・先進校の実践例を活用する
- ・教員の意識の向上を図る
- ・市町村と協力して、節電率、節水率の月ごとの比較に取り組む（ISOなど）
- ・家庭との連携を図る
- ・人材の育成を図る（尾瀬をよく知る人など）

●他教科や道徳の学習との関連付けについてお答えください。

設問 1 7 尾瀬学校の学習を‘他教科’と関連付けて学習しましたか。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①はい	37	23	60
②いいえ	27	34	61



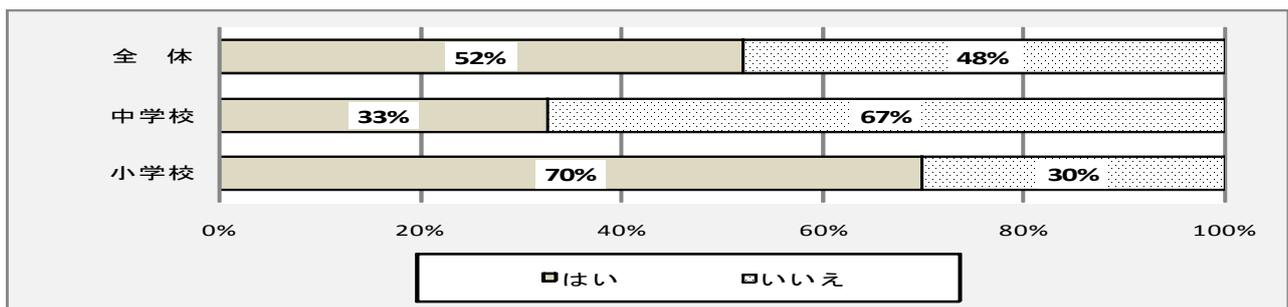
* 「はい」と答えた学校のみお答えください。

設問 1 7-1 それほどのような教科・内容ですか。

教科名	内 容
・理 科	・植物の働き ・あたたかさと植物の関係 ・花と実の学習 ・生き物と環境 ・自然と人間 ・生命のつながり ・自然のしくみ ・湿地の生き物や植物 ・地質 ・生態系 ・火山の造成 ・植生植物
・国 語	・読み物教材「森へ」 ・ガイドブック作り ・情報を整理しよう ・俳句作り
・社 会	・気候 ・私たちの生活と食料生産
・音 楽	・夏の思い出
・保健体育	・集団行動（ハイキングの基礎知識）
・家庭科	・環境を考えた食事、衣服
・学級活動	・協力の大切さ

設問 1 8 尾瀬学校の学習を‘道徳’と関連付けて学習しましたか。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①はい	42	18	60
②いいえ	18	37	55



* 「はい」と答えた学校のみお答えください。

設問 18-1 それはどのような内容ですか。

(単位：校数)	内 容	
小学校	・ひとふみ十年（5年）	・愛華さんからのメッセージ（6年）
中学校	・この地球に生まれて（心のノート）	
全 体	・自然保護、自然愛、協力、公德心 2-(2)、(3) 3-(1)、(2)、(3) 4-(1)	

●『尾瀬学校』の学習を進める上で活用した「尾瀬学習プログラム」及び「補足版」（県教委発行）の活用状況についてお答えください。

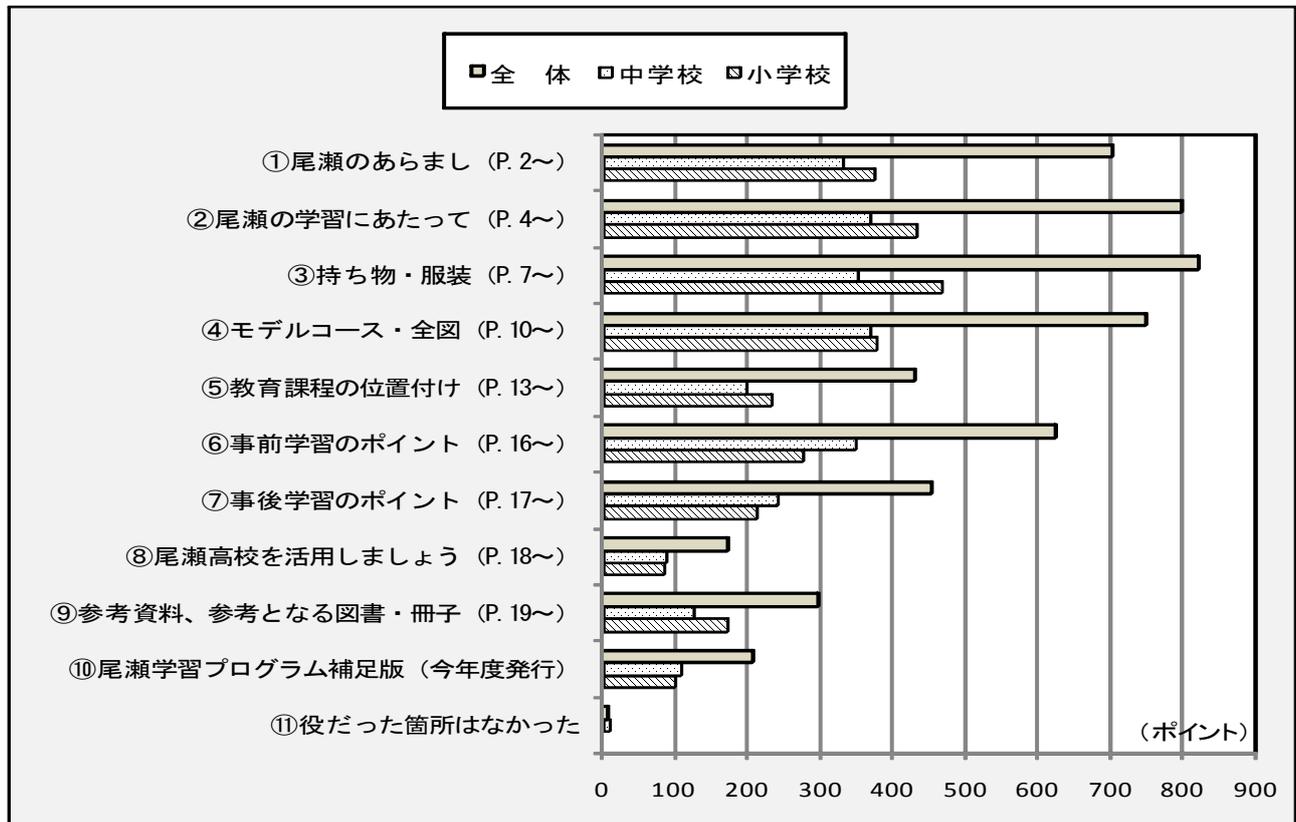
設問 19 教員が指導するに当たって、どの学習過程で最も活用しましたか。一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①事前学習	58	52	110
②当日の学習	1	0	1
③事後学習	0	0	0
④活用しなかった	4	5	9

設問 20 「尾瀬学習プログラム」及び「補足版」（県教委発行）の中で、特に役に立った箇所はどこですか（役に立った順に、右側に番号を記入してください）

(単位：ポイント)	小学校	中学校	全 体
①尾瀬のあらまし (P.2～)	374	330	704
②尾瀬の学習にあたって (P.4～)	432	368	800
③持ち物・服装 (P.7～)	468	353	821
④モデルコース・全図 (P.10～)	379	370	749
⑤教育課程の位置付け (P.13～)	233	198	431
⑥事前学習のポイント (P.16～)	275	350	625
⑦事後学習のポイント (P.17～)	212	242	454
⑧尾瀬高校を活用しましょう (P.18～)	84	89	173
⑨参考資料、参考となる図書・冊子 (P.19～)	174	125	297
⑩尾瀬学習プログラム補足版（今年度発行）	101	108	209
⑪役だった箇所はなかった	0	10	10

(数字は、1番10点、2番9点…9番2点、10番1点として、ポイントで算出)

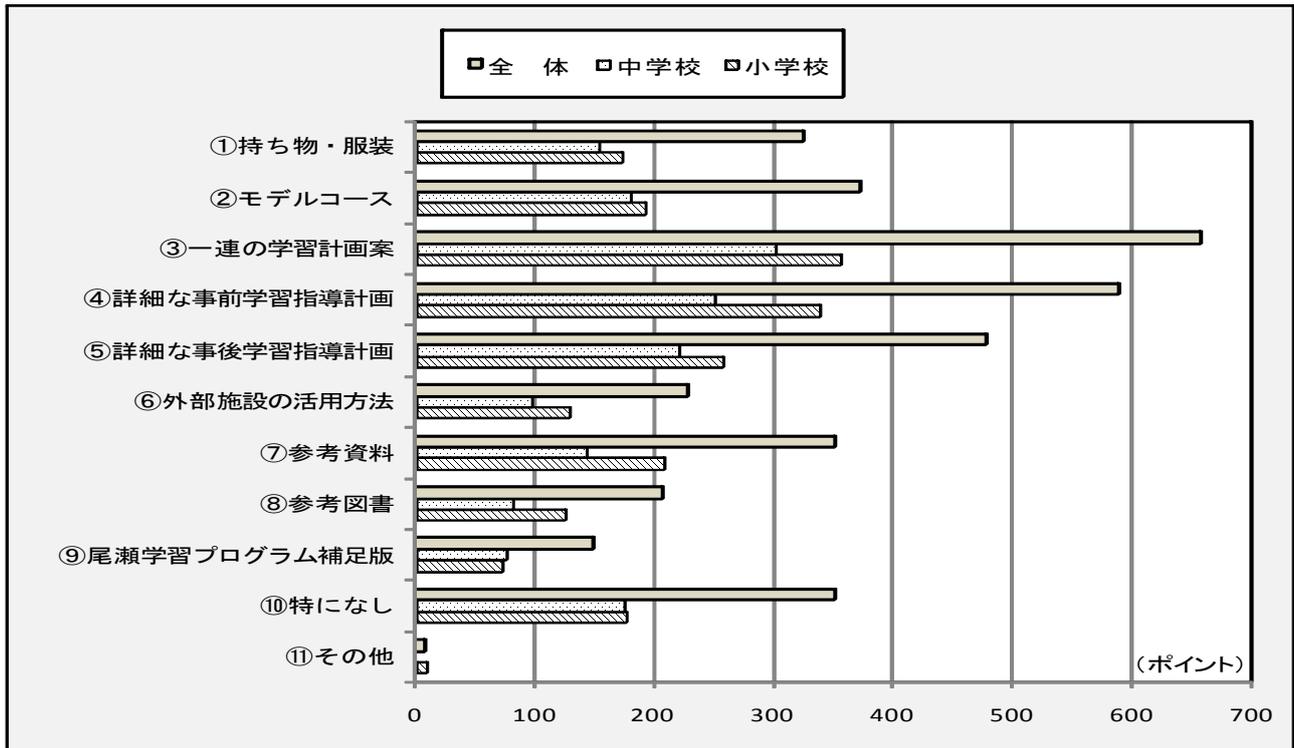


設問 2 1 「尾瀬学習プログラム」(県教委発行)の内容の充実を図るとすれば、どこの箇所ですか。
(充実してほしい順に、右側に番号を記入してください)

(単位：ポイント)	小学校	中学校	全 体
①持ち物・服装を詳しく、分かりやすくしてほしい	173	153	326
②モデルコースを詳しく、分かりやすくしてほしい	192	181	373
③一連の学習計画案がほしい	356	302	658
④詳細な事前学習指導計画がほしい	339	251	590
⑤詳細な事後学習指導計画がほしい	257	221	478
⑥外部施設の活用方法を知りたい	130	98	228
⑦参考資料の充実	208	143	351
⑧参考図書等の充実	126	81	207
⑨尾瀬学習プログラム補足版(今年度発行)の充実	73	76	149
⑩特に充実の必要はない(現状のままでよい)	177	175	352
⑪その他()	9	0	9

⑪その他【実践校の事例】

(数字は、1番10点、2番9点…9番2点、10番1点として、ポイントで算出)



設問 2 2 「尾瀬学習プログラム」のさらなる充実に向けて、ご意見をお聞かせください。

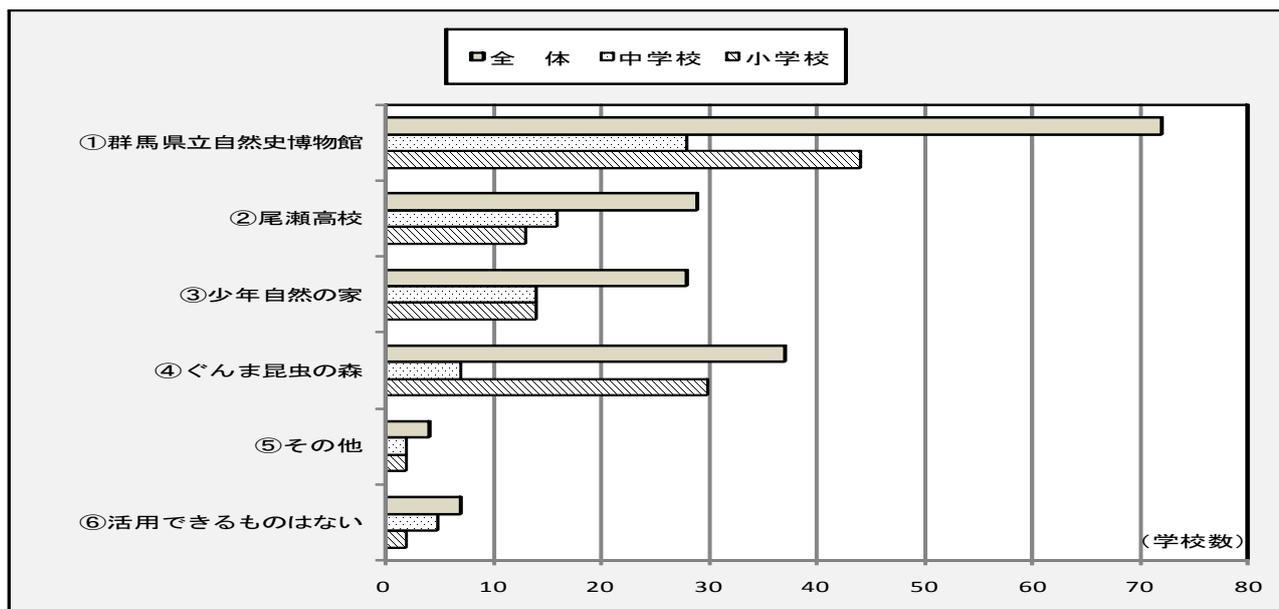
- ・環境教育にまで発展できるような、具体的な例がほしい
- ・身近な自然とのかかわりをもたせる学習例の掲載
- ・事前・事後学習を含めた実践例の掲載(課題設定のためのヒントの掲載)
- ・他の施設との詳しい連携方法
- ・他の教科、道徳との関連の図り方
- ・写真や指導計画、ワークシートなどの活用できる資料のデータ化・配付
- ・日付や学校名、日程等を入力すれば「しおり」が作成できるデータ
- ・尾瀬にある植物の詳しい写真や分類上の特徴などを盛り込むとよい(月・季節別)
- ・主なコースの詳細なコースガイドがあるとよい
- ・コースガイドに沿って、動植物などの説明があるとよい
- ・モデルコースの周辺環境や難易度・高低差・必要な体力などの掲載
- ・実写版DVD(尾瀬の草花、尾瀬で活動している人々の取組など)
- ・教員の役割とガイドの役割の明確化(含:当日のバスの中でのガイドの役割の明確化)
- ・ガイドからの要望や注意事項
- ・教員の研修方法
- ・「開校式」と「閉校式」などのマニュアル化
- ・中学校は学校の体育着で行くので、それに対応した服装の準備
- ・持ち物、服装について、季節ごとに必要なものを示してほしい
- ・当日用の「トレッキングガイド」及び詳細な地図
- ・緊急時の対応マニュアル
- ・今後も補足版を充実させていく

●『尾瀬学校』を通じた「環境教育」を充実させるための一つの手段として、社会教育施設や県の取組、自治体等の連携・活用を考えています。以下の施設や取組に関して、お答えください。

設問 2 3 以下は環境教育を進める上で活用できる県内の施設です。貴校の環境教育に活用できると思われる施設はありますか。既に活用しているものも含めてお答えください(複数回答可)

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①群馬県立自然史博物館	46	28	72
②群馬県立尾瀬高校	13	14	27
③少年自然の家	14	16	30
④群馬県立ぐんま昆虫の森	30	7	37
⑤その他	2	2	4
⑥活用できるものはない	2	5	7

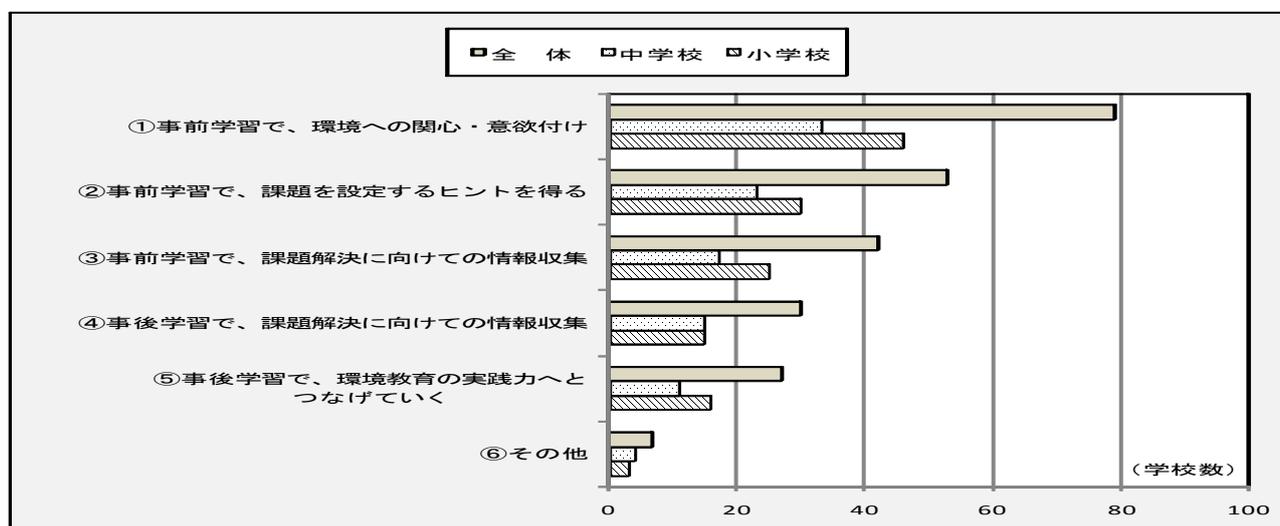
⑤その他【小：児童文化センター、玉原高原 中：金山の施設、東毛林間学校】



設問 2 4 『尾瀬学校』を通じた環境教育に上記の施設を活用するとしたら、どのような場面での活用が考えられますか。既に活用している内容も含めてお答えください。(複数回答可)

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①事前学習で、環境への関心・意欲付けをする	46	33	79
②事前学習で、課題を設定(発見)するヒントを得る	30	23	53
③事前学習で、課題解決に向けての情報収集をする	25	17	42
④事後学習で、課題解決に向けての情報収集をする	15	15	30
⑤事後学習で、環境教育の実践力へとつなげていく	16	11	27
⑥その他 ()	3	4	7

⑥その他【小：雨天時に活用 中：雨天時に活用、自然の家や林間学校の一環と】

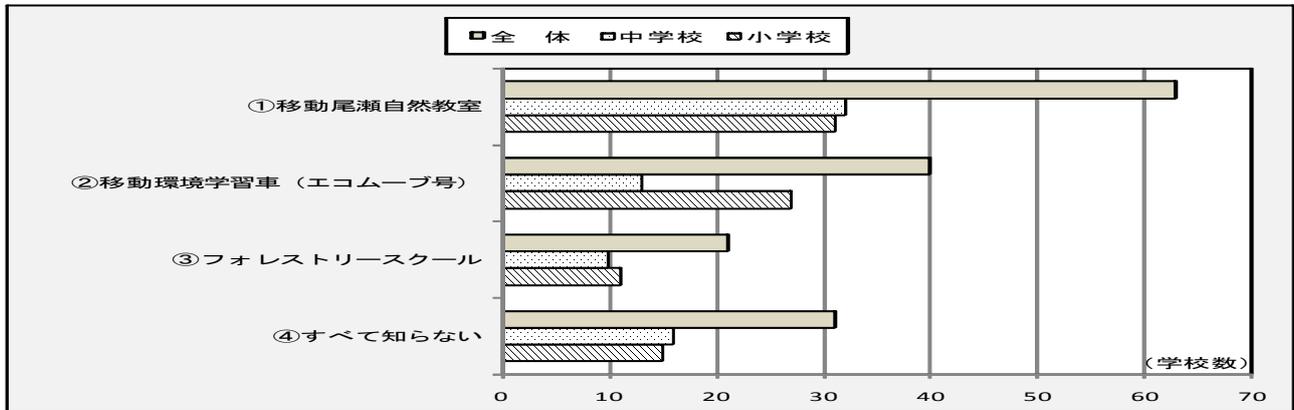


設問 2 4 - 1 既に上記の施設を活用している学校のみお答えください。その具体的な施設名と活用方法等をお書きください。(上記以外の施設でも構いません)

施設名	活 用 方 法 (尾瀬学校関連のみ)
・ 県立自然史博物館	・ 事前学習 (環境への関心・意欲付け) ・ 理科の学習
・ 県立尾瀬高等学校	・ 事後学習 (環境教育の実践力向上のため)
・ 少年自然の家	・ 事前学習 (講師依頼)
・ ぐんま昆虫の森	・ 雨天の場合、活用をお願いしておいた
	・ 事後学習 (講師依頼)
	・ 自然環境への関心、意欲付けを図る ・ 自然探検学習
	・ 事前学習 (環境への関心・意欲付け)
	・ 雨天の場合、活用をお願いしておいた

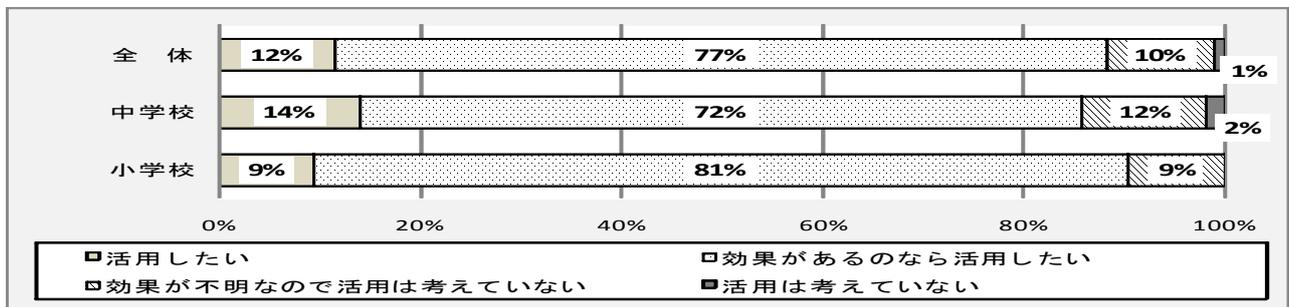
設問 2 5 以下の取組・事業は、県が環境学習の一助となるように実施しているものです。既に活用している取組・事業も含めて、知っている取組はありますか。(複数回答可)

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①移動尾瀬自然教室	31	32	63
②移動環境学習車 (エコムーブ号)	27	13	40
③フォレストリースクール	11	10	21
④すべて知らない	15	16	31



設問 2 6 事前・事後学習に上記 (問 2 5 の①~③) の取組を活用してみたいですか。既に活用している取組も含めて、一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①ぜひ活用したい	6	8	14
②効果があるのなら活用したい	51	41	92
③効果が不明のため活用は考えていない	6	7	13
④手続き等が分からないので考えていない	0	1	1

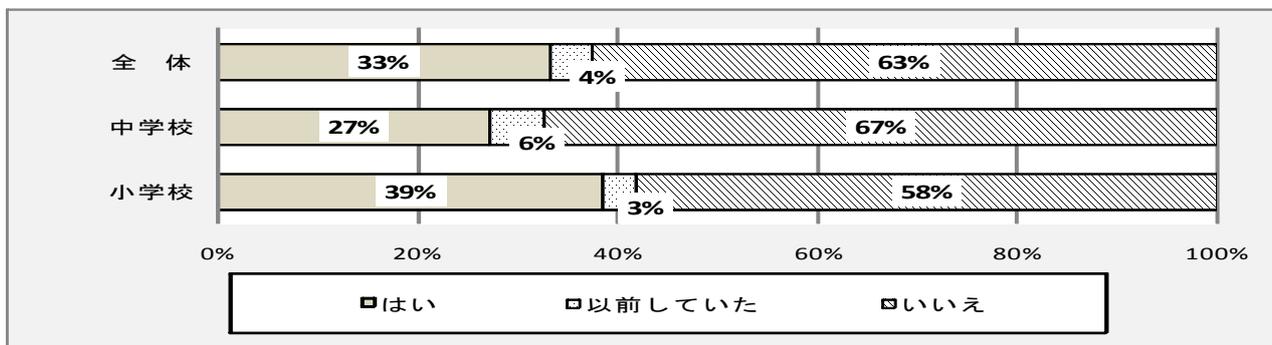


設問 2 6 - 1 既に上記 (問 2 5 の①~③) の取組を活用している学校のみお答えください。その具体的な取組名と活用方法などをお書きください。(上記以外の取組でも構いません)

取組名	活 用 方 法
・ 移動尾瀬自然教室	・ 事前学習 (尾瀬、環境への関心・意欲付け・課題設定)
・ 移動環境学習車 (エコムーブ号)	・ 事前学習 (課題設定)
・ フォレストリースクール	・ 事後学習 (環境保全、リサイクル)
	・ 川の水質調査
	・ 森のはたらき 炭焼き体験
	・ 自然観察の仕方

設問 2 7 自治体や企業の取組（リサイクル・エコ活動など）を「環境教育」に活用していますか。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①はい	24	15	39
②以前していた	2	3	5
③いいえ	36	37	73



設問 2 7 - 1 具体的な取組と活用方法などをお書きください。

取組名	活用方法
○自治体 ・牛乳パック回収 ・廃品回収 ・エコキャップ回収 ・空き缶回収 ・前橋市環境宣言 ・太田市 I S O 活動 ・沼田市の活動 ・東京電力 ・(株) シャープと 気象予報士 ・企業訪問	・市で回収 (児童会・生徒会が中心となって活動) ・ポリオワクチン購入のための活動 ・環境・J R C 委員会 (月 1 回全校で実施) ・グリーンカーテン、省エネ活動 (節電、節水、古紙回収など) ・省エネ活動 (節電、節水、リサイクル活動)、教科での学習 ・市による定期的な廃油 (天ぷら油) 回収 ・出前授業 (電気・エネルギー) ・出前授業 (地球温暖化・リサイクル) ・環境対策 (エコ活動) の見学

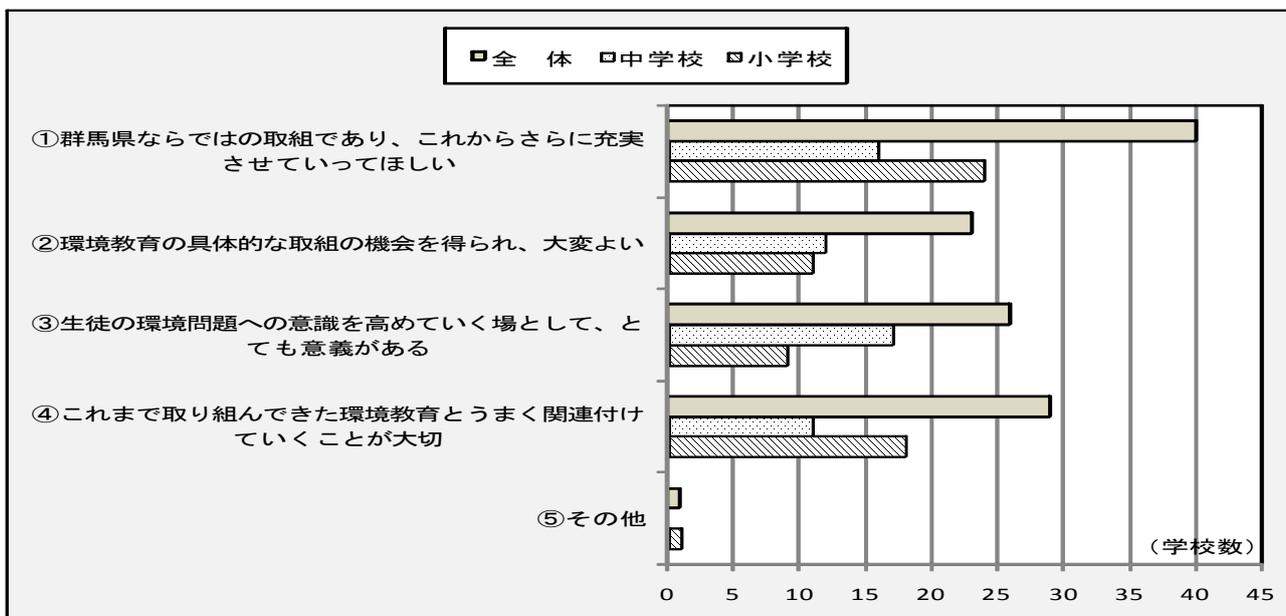
設問 2 8 貴校の『尾瀬学校』の事前・当日・事後学習において、環境教育として効果があった取組や成果が上がった学習内容等があればお書きください。

学習過程	活用方法
事前学習	・ガイドによる学習 (映像や剥製を用いての説明) ・移動尾瀬自然教室やエコムーブ号による環境学習 ・自然史博物館での尾瀬についての学習 ・尾瀬の実態を学ぶ様々な学習 (環境保護活動、ルール・マナーなど)
当日の学習	・ガイドによる詳しい説明 ・ゴミの持ち帰り、ゴミ拾い
事後学習	・「尾瀬新聞」、パンフレット、俳句の作成 ・環境に詳しい人からの話 ・尾瀬高校との連携 (生徒からの説明) ・調べ学習の発表会 (他学年に向けての発表) ・自分たちで何ができるかを考え、実行に移す活動 (エコ活動)

設問 2 9 貴校は、『尾瀬学校』と学校の「環境教育」の関連について、どのように考えますか。最も当てはまるもの一つを選んでください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①群馬県ならではの取組であり、これから更に充実させていってほしい	24	16	40
②環境教育の具体的な取組の機会を得られるので、大変よい	11	12	23
③生徒の環境問題等への意識を更に高めていく場として、とても意義がある	9	17	26
④これまで取り組んできた環境教育とうまく関連付けていくことが大切である	18	11	29
⑤その他 ()	1	0	1

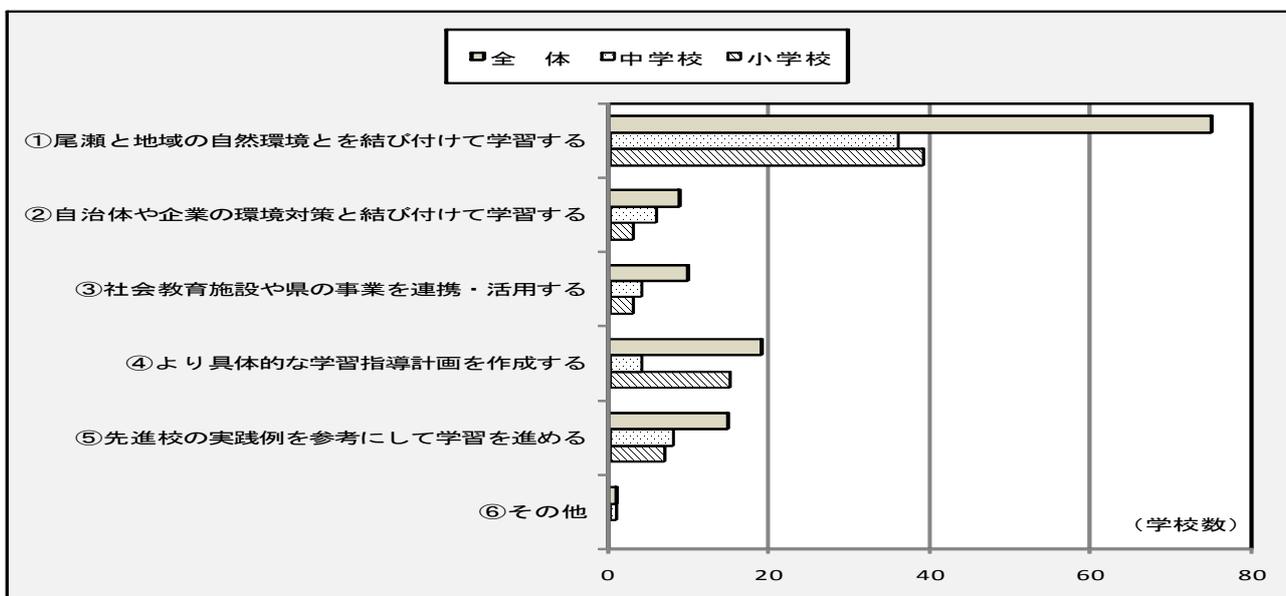
⑤その他【無理に尾瀬に行く必要性はなく、身近な環境に取り組んでいくべき】



設問 29-1 『尾瀬学校』を学校の「環境教育」として進めていくためには、何が最も有効だと思いますか。一つ選択してください。

(単位：校数)	小学校	中学校	全 体
①尾瀬の自然環境と地域の自然環境とを結び付けて学習する(比較)	39	36	75
②自治体や企業の環境対策(リサイクル・ゴミの分別等)と結び付けて学習する	3	6	9
③社会教育施設や県の取組を活用しながら学習する	1	2	3
④より具体的な学習指導計画を作成する(「尾瀬学習プログラム」及び「補足版」の内容充実)	15	4	19
⑤先進校の実践例(取組)を参考にして学習を進める	7	8	15
⑥その他()	0	1	1

⑥その他【尾瀬をよく知る人たちとの連携を図る】

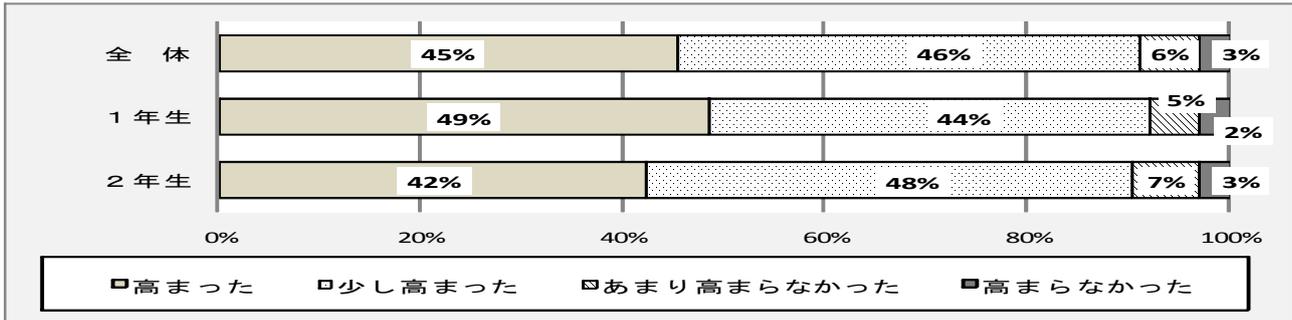


《質問の対象：協力校の1，2年生》

《共通設問》

設問1 環境学習を通して、環境問題や環境保全への意識は高まりましたか。
(1年生は1学期の学習、2年生は昨年度の学習を通して)

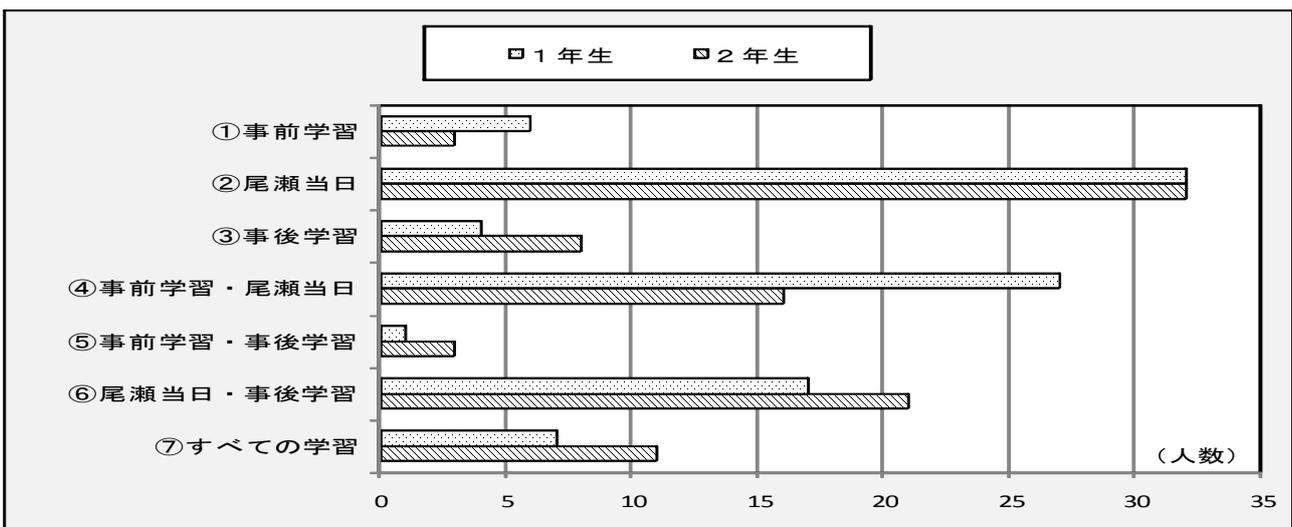
(単位：人)	1年生	2年生	全体
①高まった	50	44	94
②少し高まった	45	50	95
③あまり高まらなかった	5	7	12
④高まらなかった	3	3	6



* 「高まった」「少し高まった」と答えた人のみ回答してください。

設問1-1 環境への意識が高まったのは、どの学習ですか。一つ選んでください。

(単位：人)	1年生	2年生	全体
①事前学習	6	3	9
②尾瀬当日の学習	32	32	64
③事後学習	4	8	12
④事前学習と尾瀬当日の学習	27	16	43
⑤事前学習と事後学習	1	3	4
⑥尾瀬当日の学習と事後学習	17	21	38
⑦事前学習・当日の学習・事後学習(すべての学習)	7	11	18



設問 1-2 高まったと感じる学習内容・取組を具体的に書いてください。

* 1 年生	<ul style="list-style-type: none"> ○事前・図鑑を通して ・テーマを決める学習 ・尾瀬特有の植物を調べて ・自然保護の取組を調べて ・昔の尾瀬の写真を見て ○当日・パンフレットで尾瀬のマナーについて学んで ・資料を見て ・尾瀬の植物や木々を知って ・尾瀬にはゴミがない ・ガイドさんの話から（環境により植物は変化する） ・ゴミを拾って ・尾瀬に西洋タンポポなど外来種が入っている ・トイレチップ制 ・尾瀬の自然保護（ルール） ・事前に調べた環境保護を実際に見て ○事後・植物を詳しく調べて ・まとめるときに尾瀬の自然を実感した ・自然保護について調べて ・環境破壊の怖さ ・感想を書いて ・まとめるのとき、尾瀬と地域の環境保護の両方を考えられた
* 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> ○事前・インターネットの調べ学習 ・先生からの話 ○当日・トイレチップ制 ・ガイドさんの話 ・イモリの姿 ・尾瀬の自然に触れて ・事前学習で勉強したとおりだった ・事前学習では分からなかったことが尾瀬で実際に見て分かった ○事後・泥炭についてネットで調べて ・発表のための資料作り ・テーマに沿った調べ学習 ・尾瀬の成り立ちの学習 ・自分で発表したり、他の班の発表を聞いて ・環境を守るために、自分たちにできることを決めた

設問 1-3 その学習を通して、どんな環境への意識が高まりましたか。具体的に書いてください。

* 1 年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを出さない ・ゴミを拾う ・ゴミは捨てない ・ゴミの分別 ・地域のゴミ問題 ・CO₂をなるべく出さない ・温暖化防止 ・水の大切さ ・尾瀬にはゴミがなかったの、住んでいる場所もそうありがたい ・外来種から尾瀬の植物を守る ・自然の植物 ・生き物を大切に ・一度壊れた自然を元に戻すにはすごく時間がかかる ・植物の大切さ ・今のきれいな尾瀬を守るために自分にできることは何か ・地域の環境保全
* 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ対策 ・水の大切さ ・CO₂削減 ・節約の実行 ・冷房の使いすぎ ・尾瀬のような自然を残すこと ・人間が自然破壊をしている ・絶滅危惧種の大切さ ・自然を大切にする ・自分の生活の振り返り ・身近なところから見直していく ・温暖化対策

* 「あまり高まらなかった」「高まらなかった」と答えた人のみ回答してください。

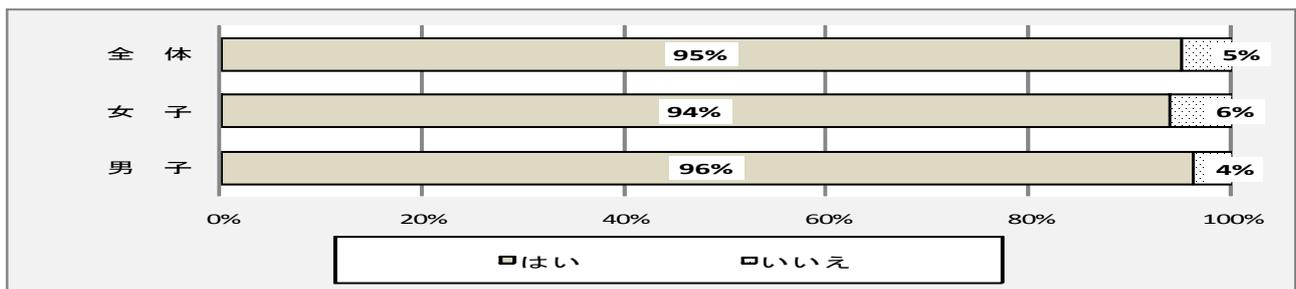
設問 1-4 なぜ、環境への意識が高まらなかったと思いますか。理由を書いてください。

* 1 年生	<ul style="list-style-type: none"> ・事前での調べが足りなかったため、環境への気持ちがなかった ・尾瀬にも小さなゴミが落ちていた ・尾瀬と環境問題がうまく結び付かない ・歩き疲れて、環境について考えられなかった ・もともと環境に関心がない
* 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> ・まじめに勉強しなかったから ・環境に対してあまり意識しなかった ・尾瀬に行って環境問題はあまり感じられなかった ・忘れてしまった ・元々知っていることが多かったから ・みんながやっているから

《1年生のみへの設問》

設問 2 尾瀬に行って新しい発見や感動があったり、環境問題・環境保全に興味をもったりしたことはありますか。

(単位：人)	男子	女子	全体
①はい	51	47	98
②いいえ	2	3	5



* 「はい」と答えた人のみ回答してください。

設問 2-1 どんな発見・感動があったり、環境問題・環境保全に興味をもったりしましたか。

- ・美しい山、川、色々な植物に会えた
- ・尾瀬の貴重な植物がたくさんあった
- ・水芭蕉がとてもきれいで、このような自然を守ろうと思った
- ・空気がきれいな自然の多さや植物、生き物の摂理
- ・湿原の木の生育場所の違い
- ・鹿の足跡
- ・尾瀬の自然の大切さ
- ・絶滅危惧種（イモリ等）のこと
- ・トイレのチップ制
- ・環境がいいと色々な生き物がいる
- ・群馬にも素晴らしい自然がある
- ・ゴミの持ち帰り運動
- ・絶妙なバランスで自然が成り立っている
- ・ゴミがない
- ・至仏山がきれい
- ・至仏山の6月の雪
- ・植物と地形との関連
- ・湿原の広さ
- ・かけがえのない自然である
- ・長年にわたる環境保全への取組
- ・珍しい鳥の声
- ・熊の食事の跡やカエルの卵を見て
- ・動物に荒らされている場所もある
- ・自然の生命力（上に伸びる木の姿）
- ・木道整備の大変さ
- ・生き物が生き生きとしていた
- ・福島県まで行けたこと

* 「いいえ」と答えた人のみ回答してください。

設問 2-2 なぜ、なかったり、もてなかったりしたのですか。理由を書いてください。

- ・知っている植物が多かった
- ・興味がない
- ・あまり意識しなかった

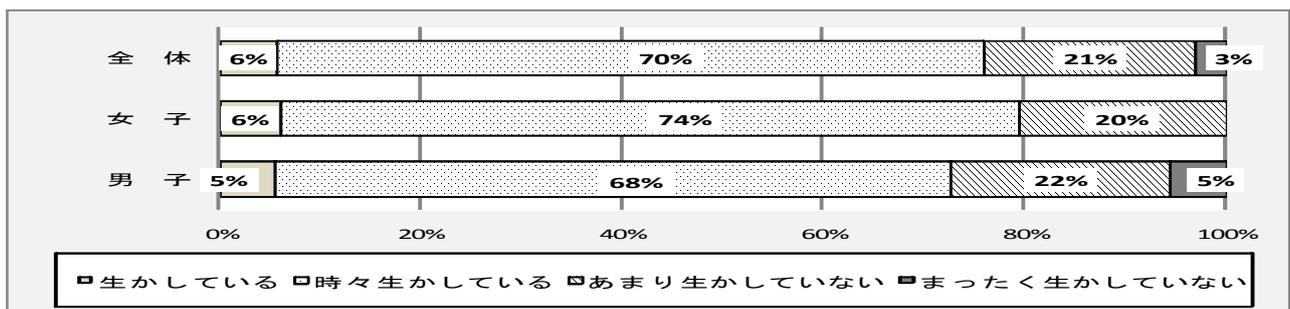
設問 3 環境学習で学んだことを生かして、実生活の中で取り組んだり、取り組んでいこうと考えたりしていることはありますか。あれば、具体的に書いてください。

- ・水の節約
- ・ゴミ拾い
- ・物を大切にする
- ・エアコンを使いすぎない
- ・電気の節約
- ・風呂での節水
- ・環境の知識を身に付け生活の中で生かしたい
- ・ゴミを捨てない
- ・花を育てる
- ・ゴミの持ち帰り
- ・植物を大切にする
- ・マイバッグの利用
- ・ゴミの分別
- ・リサイクル
- ・グリーンカーテン
- ・洗剤を使いすぎない

《2年生のみへの設問》

設問 2 昨年度、環境学習で学んだことや取り組んでいこうと決めたことを、今でも実生活に生かしたり、続けて取り組んだりしていますか。

	(単位：人)	男子	女子	全体
①生かしている、取り組んでいる		3	3	6
②時々生かしている、取り組んでいる		37	36	73
③あまり生かしていない、取り組んでいない		12	10	22
④生かしていない、取り組んでいない		3	0	3



* ①・②と答えた人のみ回答してください。

設問 2-1 生かしている、取り組んでいるという内容・取組を具体的に書いてください。

- ・ゴミのポイ捨て
- ・節電
- ・油を流さない
- ・ゴミの分別
- ・風呂の水の再利用
- ・節水
- ・食べ物を残さない
- ・花の手入れ
- ・エアコンの設定温度を上げる(下げる)
- ・再利用(タオルを雑巾に)
- ・レジ袋をもらわない
- ・地産地消
- ・洗剤を使いすぎない
- ・シャンプーを使いすぎない
- ・テレビを見すぎない
- ・ペットボトルの蓋集め

* ③・④と答えた人のみ回答してください。

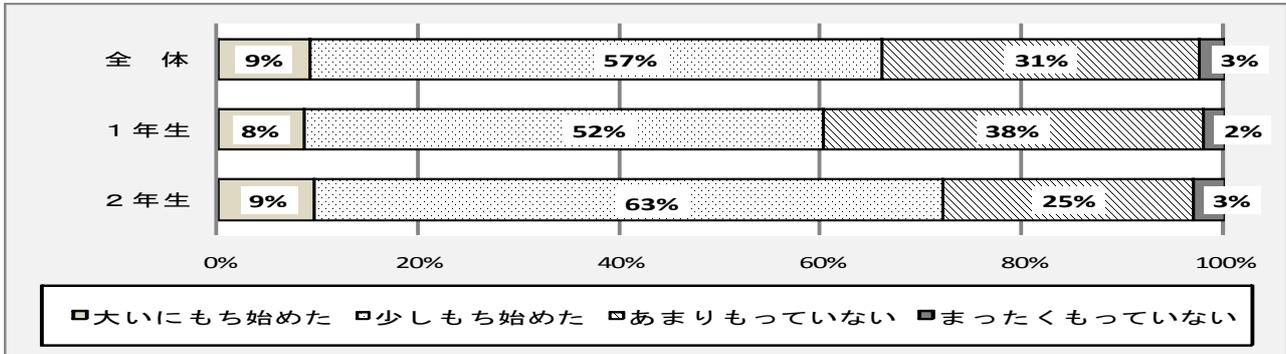
設問 2-2 生かしていない、取り組んでいないのはなぜですか。理由を書いてください。

- ・環境について意識していない
- ・忘れてしまう
- ・分かっているが実行できない

《共通設問》

設問A 最近、テレビのニュースや新聞・本等で、環境問題に関する話題が数多く取り上げられています。みなさんは環境学習を通して、話題になっている環境問題に関心を持ち始めましたか。

(単位：人)	1年生	2年生	全体
①大いに関心を持ち始めた	9	10	19
②少し関心を持ち始めた	53	65	118
③あまり関心をもっていない	39	26	65
④関心をもっていない	2	3	5



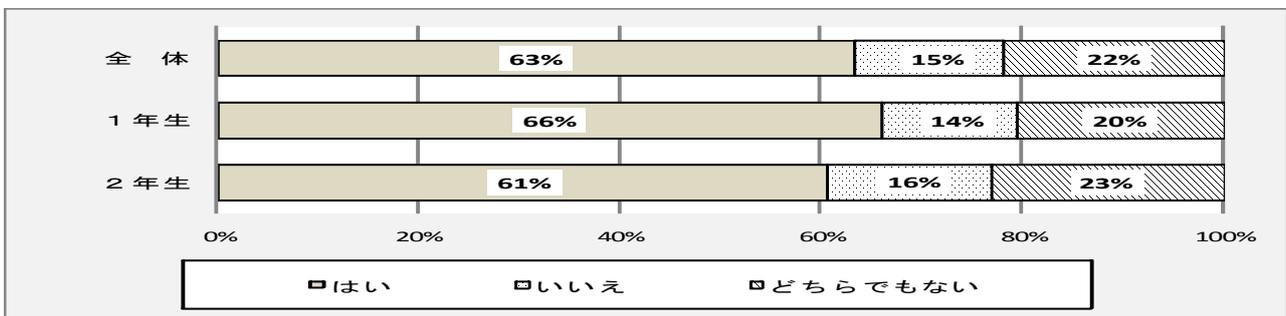
*①・②と答えた人のみ回答してください。

設問A-1 関心を持ち始めた環境問題とは、どのような内容の問題ですか。

*1年生	<ul style="list-style-type: none"> 水不足問題 地球温暖化 森林伐採 CO₂排出削減 省エネ オゾン層破壊 ゴミ問題 身近なゴミ 水質汚染 砂漠化 ツバルの水没問題 不法投棄 豪雨による洪水 ソーラーパネル 富士山のゴミの量 人間による自然破壊 生き物の絶滅
*2年生	<ul style="list-style-type: none"> 水不足問題 (アフリカ) 地球温暖化 森林伐採 CO₂排出削減 オゾン層破壊 ゴミ問題 身近なゴミ 水質汚染 省エネ ツバルの水没問題 不法投棄 砂漠化 豪雨による洪水 富士山のゴミの量 人間による自然破壊 生き物の絶滅 干ばつ ソーラーパネル ハイブリッド車 (エコカー) 絶滅危惧種 自然災害 産業廃棄物 緑を増やす活動 自分に何が出来るか

設問B 尾瀬にまた、行ってみたいと思いますか。

(単位：人)	1年生	2年生	全体
①はい	68	63	131
②いいえ	14	17	31
③どちらでもない	21	24	45



設問B-1 それぞれの答えの理由を書いてください。

<p>* 1 年生</p>	<p>①・きれいな自然を見ると心が落ち着くから ・オコジョに会いたいから ・花がきれい ・きれいな空気が吸いたい ・環境のことを深く知りたい ・ガイドさんからの話が楽しく、知識が付くから ・水芭蕉をまた見たい ・貴重な動植物を間近で見られる ・もっとゆっくり観察したい ・また美しい景色が見たい ・自然の大切さをもう一度感じたい ・まだ見ていない動植物がある (違う季節に行きたい) ・自然とのふれあい ・大自然に包まれたい ・また尾瀬の取組を見たい ・家族で行きたい ・家族に紹介したい ・尾瀬をきれいにしてきたい ・友達と行けて楽しかったから ・違う感動があるかもしれないから ・四季折々の姿を見たい ・地元では感じられない自然があるから ・違う課題を調べてみたいから ・尾瀬を知って、生活に生かしたい</p> <p>②・自分にはあまり合ってなかった ・歩く時間が長い ・感動がないから ・疲れてゆっくりと観察できない ・自然はきれいだが一度で十分だから</p> <p>③・楽しみがない ・人が入りすぎることが動植物にいいことかどうか ・行かないで調べる ・自然の場なので楽しみがないから ・行きたいけど、道がきつい ・自分の意志では行こうとは思わない ・自然の良さがわからない ・また少ししたら行ってもいい</p>
<p>* 2 年生</p>	<p>①・景色がきれい ・環境について見直してみたい ・水芭蕉を見たい ・まだ見ていない場所があるから ・自然に触れたい ・歩くのは楽しい ・もう一度湿原を見たい ・忘れてしまったこともあるから ・今の時代、こんなに自然があるところはないから ・至仏山に登りたい ・改めて自然の大切さを考えてみたい ・新しい発見があるかもしれない ・普段できない体験ができるから ・珍しい動植物を見たいから ・忙しかったのでゆっくり見たい ・違う季節に行ってみたい ・ゴミもなくきれいだから ・手つかずの自然をまた見たい ・尾瀬についてもっと知りたいから ・知らないことがたくさん学べる ・友達と一緒に楽しかった ・家族と行って環境について考えてみたい ・何年ヶ後の姿を見たいから ・自然は心が癒される、安らげる ・今の尾瀬を見たい ・以前より、環境に関心が出てきたから</p> <p>②・環境について深く考えていないから ・尾瀬以外のところに行きたい ・行くことで自分が自然破壊をしている気がするから ・長い距離を歩いて疲れるから ・何度も行っているから (家族等で)</p> <p>③・テレビで見られるから ・行ってみたいが疲れるから ・遠いから ・楽しみがないから ・行く機会がないから ・誘われたら行きたい</p>

『尾瀬学校』を生かした環境教育の推進を図るための調査研究報告書

環境を感じ考え、様々な活動の環を広げていくための学習計画

「尾瀬KAN」

平成21年度調査担当者

副 所 長 (研究・研修担当)	田村 満
高校教育研究係 係 長	加世田 直人
指 導 主 事	高橋 太郎
長 期 研 修 員	浅川 誠一

発 行 者	平成22年3月
	群馬県総合教育センター
	群馬県伊勢崎市今泉町一丁目233番地2
	TEL 0270-26-9211 (代表)
問 い 合 わ せ	カリキュラムセンター
	TEL 0270-26-9208
	電子メール curri@center.gsn.ed.jp

